

0001 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【支度】の読み方として最も適切なものを選んでください。
出かける前に、旅行の【支度】をしておきます。

- ア：しど
- イ：ささえど
- ウ：したく
- エ：してい

答え・解説 正答：ウ

ア：「しど」はこの語「支度」の標準的な読みではありません。「支度（したく）」は、必要なものを整えて準備すること。
イ：「ささえど」はこの語「支度」の標準的な読みではありません。「支度（したく）」は、必要なものを整えて準備すること。
ウ：「支度」の正しい読みは「したく」です。「支度（したく）」は、必要なものを整えて準備すること。
エ：「してい」はこの語「支度」の標準的な読みではありません。「支度（したく）」は、必要なものを整えて準備すること。

総合解説：「支度（したく）」は、必要なものを整えて準備すること。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0002 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【窓口】の読み方として最も適切なものを選んでください。
申込書は一階の【窓口】に出してください。

- ア：まどぐち
- イ：そうぐち
- ウ：まどくち
- エ：そうこう

答え・解説 正答：ア

ア：「窓口」の正しい読みは「まどぐち」です。「窓口（まどぐち）」は、受付や手続を行う場所を表す。
イ：「そうぐち」はこの語「窓口」の標準的な読みではありません。「窓口（まどぐち）」は、受付や手続を行う場所を表す。
ウ：「まどくち」はこの語「窓口」の標準的な読みではありません。「窓口（まどぐち）」は、受付や手続を行う場所を表す。
エ：「そうこう」はこの語「窓口」の標準的な読みではありません。「窓口（まどぐち）」は、受付や手続を行う場所を表す。

総合解説：「窓口（まどぐち）」は、受付や手続を行う場所を表す。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0003 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【途中】の読み方として最も適切なものを選んでください。
駅へ行く【途中】で雨が降り始めました。

- ア：とちゅう
- イ：みちなか
- ウ：とじゅう
- エ：どうちゅう

答え・解説 正答：ア

ア：「途中」の正しい読みは「とちゅう」です。「途中（とちゅう）」は、目的地や物事の終わりに達するまでの間を表す。
イ：「みちなか」はこの語「途中」の標準的な読みではありません。「途中（とちゅう）」は、目的地や物事の終わりに達するまでの間を表す。
ウ：「とじゅう」はこの語「途中」の標準的な読みではありません。「途中（とちゅう）」は、目的地や物事の終わりに達するまでの間を表す。
エ：「どうちゅう」はこの語「途中」の標準的な読みではありません。「途中（とちゅう）」は、目的地や物事の終わりに達するまでの間を表す。

総合解説：「途中（とちゅう）」は、目的地や物事の終わりに達するまでの間を表す。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0004 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【確か】の読み方として最も適切なものを選んでください。
彼が来るかどうかは【確か】ではありません。

- ア：かくか
- イ：たしかく
- ウ：たしか
- エ：かしか

答え・解説 正答：ウ

ア：「かくか」はこの語「確か」の標準的な読みではありません。「確か（たしか）」は、間違いないこと、または記憶がほぼ間違いないことを表す。
イ：「たしかく」はこの語「確か」の標準的な読みではありません。「確か（たしか）」は、間違いないこと、または記憶がほぼ間違いないことを表す。
ウ：「確か」の正しい読みは「たしか」です。「確か（たしか）」は、間違いないこと、または記憶がほぼ間違いないことを表す。
エ：「かしか」はこの語「確か」の標準的な読みではありません。「確か（たしか）」は、間違いないこと、または記憶がほぼ間違いないことを表す。

総合解説：「確か（たしか）」は、間違いないこと、または記憶がほぼ間違いないことを表す。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0005 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【続ける】の読み方として最も適切なものを選んでください。
毎日少しずつ勉強を【続ける】ことが大切です。

ア：ぞくける
イ：つづける
ウ：つずける
エ：つつける

答え・解説 正答：イ

ア：「ぞくける」はこの語「続ける」の標準的な読みではありません。「続ける（つづける）」は、中断せず同じ行為を行うこと。
イ：「続ける」の正しい読みは「つづける」です。「続ける（つづける）」は、中断せず同じ行為を行うこと。
ウ：「つずける」はこの語「続ける」の標準的な読みではありません。「続ける（つづける）」は、中断せず同じ行為を行うこと。
エ：「つつける」はこの語「続ける」の標準的な読みではありません。「続ける（つづける）」は、中断せず同じ行為を行うこと。

総合解説：「続ける（つづける）」は、中断せず同じ行為を行うこと。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0006 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【深い】の読み方として最も適切なものを選んでください。
この川は見た目より【深い】ので、入らないでください。

ア：しんい
イ：ふかい
ウ：ぶかい
エ：ふけい

答え・解説 正答：イ

ア：「しんい」はこの語「深い」の標準的な読みではありません。「深い（ふかい）」は、表面から底までの距離が大きいことを表す。
イ：「深い」の正しい読みは「ふかい」です。「深い（ふかい）」は、表面から底までの距離が大きいことを表す。
ウ：「ぶかい」はこの語「深い」の標準的な読みではありません。「深い（ふかい）」は、表面から底までの距離が大きいことを表す。
エ：「ふけい」はこの語「深い」の標準的な読みではありません。「深い（ふかい）」は、表面から底までの距離が大きいことを表す。

総合解説：「深い（ふかい）」は、表面から底までの距離が大きいことを表す。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0007 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【受付】の読み方として最も適切なものを選んでください。
病院に着いたら、まず【受付】で名前を書いてください。

- ア：うけつき
- イ：うけづけ
- ウ：じゅふ
- エ：うけつけ

答え・解説 正答：エ

ア：「うけつき」はこの語「受付」の標準的な読みではありません。「受付（うけつけ）」は、申込みや来訪者への対応をする場所・行為を表す。
イ：「うけづけ」はこの語「受付」の標準的な読みではありません。「受付（うけつけ）」は、申込みや来訪者への対応をする場所・行為を表す。
ウ：「じゅふ」はこの語「受付」の標準的な読みではありません。「受付（うけつけ）」は、申込みや来訪者への対応をする場所・行為を表す。
エ：「受付」の正しい読みは「うけつけ」です。「受付（うけつけ）」は、申込みや来訪者への対応をする場所・行為を表す。

総合解説：「受付（うけつけ）」は、申込みや来訪者への対応をする場所・行為を表す。文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0008 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【連絡】の読み方として最も適切なものを選んでください。
予定が変わったら、すぐに【連絡】してください。

- ア：れいらく
- イ：れんがく
- ウ：れんらく
- エ：れんら

答え・解説 正答：ウ

ア：「れいらく」はこの語「連絡」の標準的な読みではありません。「連絡（れんらく）」は、情報や用件を相手に知らせること。
イ：「れんがく」はこの語「連絡」の標準的な読みではありません。「連絡（れんらく）」は、情報や用件を相手に知らせること。
ウ：「連絡」の正しい読みは「れんらく」です。「連絡（れんらく）」は、情報や用件を相手に知らせること。
エ：「れんら」はこの語「連絡」の標準的な読みではありません。「連絡（れんらく）」は、情報や用件を相手に知らせること。

総合解説：「連絡（れんらく）」は、情報や用件を相手に知らせること。文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0009 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【残念】の読み方として最も適切なものを選んでください。
試合に負けたのは【残念】ですが、よく頑張りました。

- ア：のこねん
- イ：ざんれん
- ウ：ざんせん
- エ：ざんねん

答え・解説 正答：エ

ア：「のこねん」はこの語「残念」の標準的な読みではありません。「残念（ざんねん）」は、思いどおりにならず心残りに感じる事。
イ：「ざんれん」はこの語「残念」の標準的な読みではありません。「残念（ざんねん）」は、思いどおりにならず心残りに感じる事。
ウ：「ざんせん」はこの語「残念」の標準的な読みではありません。「残念（ざんねん）」は、思いどおりにならず心残りに感じる事。
エ：「残念」の正しい読みは「ざんねん」です。「残念（ざんねん）」は、思いどおりにならず心残りに感じる事。

総合解説：「残念（ざんねん）」は、思いどおりにならず心残りに感じる事。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0010 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【経験】の読み方として最も適切なものを選んでください。
海外で働いた【経験】があります。

- ア：きょうけん
- イ：けいげん
- ウ：けいけん
- エ：けんけい

答え・解説 正答：ウ

ア：「きょうけん」はこの語「経験」の標準的な読みではありません。「経験（けいけん）」は、実際に見聞きしたり行ったりすること。
イ：「けいげん」はこの語「経験」の標準的な読みではありません。「経験（けいけん）」は、実際に見聞きしたり行ったりすること。
ウ：「経験」の正しい読みは「けいけん」です。「経験（けいけん）」は、実際に見聞きしたり行ったりすること。
エ：「けんけい」はこの語「経験」の標準的な読みではありません。「経験（けいけん）」は、実際に見聞きしたり行ったりすること。

総合解説：「経験（けいけん）」は、実際に見聞きしたり行ったりすること。 文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0011 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【遅れる】の読み方として最も適切なものを選んでください。
電車が事故で【遅れる】そうです。

ア：おくれる
イ：ちれる
ウ：おこれる
エ：おそくれる

答え・解説 正答：ア

ア：「遅れる」の正しい読みは「おくれる」です。「遅れる（おくれる）」は、予定した時刻より後になること。
イ：「ちれる」はこの語「遅れる」の標準的な読みではありません。「遅れる（おくれる）」は、予定した時刻より後になること。
ウ：「おこれる」はこの語「遅れる」の標準的な読みではありません。「遅れる（おくれる）」は、予定した時刻より後になること。
エ：「おそくれる」はこの語「遅れる」の標準的な読みではありません。「遅れる（おくれる）」は、予定した時刻より後になること。

総合解説：「遅れる（おくれる）」は、予定した時刻より後になること。文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0012 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【具合】の読み方として最も適切なものを選んでください。
今日は少し【具合】が悪いので、早く帰ります。

ア：ぐごう
イ：ぐあい
ウ：くあい
エ：ぐあ

答え・解説 正答：イ

ア：「ぐごう」はこの語「具合」の標準的な読みではありません。「具合（ぐあい）」は、体調や物事の状態・調子を表す。
イ：「具合」の正しい読みは「ぐあい」です。「具合（ぐあい）」は、体調や物事の状態・調子を表す。
ウ：「くあい」はこの語「具合」の標準的な読みではありません。「具合（ぐあい）」は、体調や物事の状態・調子を表す。
エ：「ぐあ」はこの語「具合」の標準的な読みではありません。「具合（ぐあい）」は、体調や物事の状態・調子を表す。

総合解説：「具合（ぐあい）」は、体調や物事の状態・調子を表す。文の意味を確認しながら、熟語として定着した読みを選ぶことがポイントです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0013 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【約束】の読み方として最も適切なものを選んでください。
友達との【約束】を忘れないよう、予定表に書きました。

- ア：やくそく
- イ：やくぞく
- ウ：ようそく
- エ：やっそく

答え・解説 正答：ア

ア：正しい読みです。人と決めた事柄を表す「約束」の読みは「やくそく」です。
イ：「やくぞく」は「約束」の標準的な読みではありません。人と決めた事柄を表す「約束」の読みは「やくそく」です。
ウ：「ようそく」は「約束」の標準的な読みではありません。人と決めた事柄を表す「約束」の読みは「やくそく」です。
エ：「やっそく」は「約束」の標準的な読みではありません。人と決めた事柄を表す「約束」の読みは「やくそく」です。

総合解説：人と決めた事柄を表す「約束」の読みは「やくそく」です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0014 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【準備】の読み方として最も適切なものを選んでください。
会議の【準備】が終わったので、資料を配ります。

- ア：じゅんぴ
- イ：じゅんび
- ウ：しょうび
- エ：じゅび

答え・解説 正答：ア

ア：正しい読みです。「準備」は「じゅんぴ」と読み、必要なものを前もって整えることを表します。
イ：「じゅんび」は「準備」の標準的な読みではありません。「準備」は「じゅんぴ」と読み、必要なものを前もって整えることを表します。
ウ：「しょうび」は「準備」の標準的な読みではありません。「準備」は「じゅんぴ」と読み、必要なものを前もって整えることを表します。
エ：「じゅび」は「準備」の標準的な読みではありません。「準備」は「じゅんぴ」と読み、必要なものを前もって整えることを表します。

総合解説：「準備」は「じゅんぴ」と読み、必要なものを前もって整えることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0015 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【必要】の読み方として最も適切なものを選んでください。
申込みには身分証明書が【必要】です。

ア：ひつおう
イ：ひっよう
ウ：ひちよう
エ：ひつよう

答え・解説 正答：エ

ア：「ひつおう」は「必要」の標準的な読みではありません。「必要」は「ひつよう」と読み、なくてはならないことを表します。
イ：「ひっよう」は「必要」の標準的な読みではありません。「必要」は「ひつよう」と読み、なくてはならないことを表します。
ウ：「ひちよう」は「必要」の標準的な読みではありません。「必要」は「ひつよう」と読み、なくてはならないことを表します。
エ：正しい読みです。「必要」は「ひつよう」と読み、なくてはならないことを表します。

総合解説：「必要」は「ひつよう」と読み、なくてはならないことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0016 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【相談】の読み方として最も適切なものを選んでください。
進路について先生に【相談】しました。

ア：そうだん
イ：しょうだん
ウ：そうたん
エ：そだん

答え・解説 正答：ア

ア：正しい読みです。「相談」は「そうだん」と読み、相手と話し合って意見を求めることを表します。
イ：「しょうだん」は「相談」の標準的な読みではありません。「相談」は「そうだん」と読み、相手と話し合って意見を求めることを表します。
ウ：「そうたん」は「相談」の標準的な読みではありません。「相談」は「そうだん」と読み、相手と話し合って意見を求めることを表します。
エ：「そだん」は「相談」の標準的な読みではありません。「相談」は「そうだん」と読み、相手と話し合って意見を求めることを表します。

総合解説：「相談」は「そうだん」と読み、相手と話し合って意見を求めることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0017

漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【変更】の読み方として最も適切なものを選んでください。
台風のため、試合の時間が【変更】されました。

ア：へこう
イ：へんごう
ウ：べんこう
エ：へんこう

答え・解説

正答：エ

ア：「へこう」は「変更」の標準的な読みではありません。「変更」は「へんこう」と読み、決まっていた内容を変えることを表します。
イ：「へんごう」は「変更」の標準的な読みではありません。「変更」は「へんこう」と読み、決まっていた内容を変えることを表します。
ウ：「べんこう」は「変更」の標準的な読みではありません。「変更」は「へんこう」と読み、決まっていた内容を変えることを表します。
エ：正しい読みです。「変更」は「へんこう」と読み、決まっていた内容を変えることを表します。

総合解説：「変更」は「へんこう」と読み、決まっていた内容を変えることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0018

漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【到着】の読み方として最も適切なものを選んでください。
電車は予定より五分遅れて【到着】しました。

ア：とうちょく
イ：どうちゃく
ウ：とうじゃく
エ：とうちゃく

答え・解説

正答：エ

ア：「とうちょく」は「到着」の標準的な読みではありません。「到着」は「とうちゃく」と読み、目的地に着くことを表します。
イ：「どうちゃく」は「到着」の標準的な読みではありません。「到着」は「とうちゃく」と読み、目的地に着くことを表します。
ウ：「とうじゃく」は「到着」の標準的な読みではありません。「到着」は「とうちゃく」と読み、目的地に着くことを表します。
エ：正しい読みです。「到着」は「とうちゃく」と読み、目的地に着くことを表します。

総合解説：「到着」は「とうちゃく」と読み、目的地に着くことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0019 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【利用】の読み方として最も適切なものを選んでください。
この図書館は学生なら無料で【利用】できます。

- ア：りゅうよう
- イ：りょよう
- ウ：りよう
- エ：りおう

答え・解説 正答：ウ

ア：「りゅうよう」は「利用」の標準的な読みではありません。「利用」は「りよう」と読み、目的に合わせて使うことを表します。
イ：「りょよう」は「利用」の標準的な読みではありません。「利用」は「りよう」と読み、目的に合わせて使うことを表します。
ウ：正しい読みです。「利用」は「りよう」と読み、目的に合わせて使うことを表します。
エ：「りおう」は「利用」の標準的な読みではありません。「利用」は「りよう」と読み、目的に合わせて使うことを表します。

総合解説：「利用」は「りよう」と読み、目的に合わせて使うことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0020 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【注意】の読み方として最も適切なものを選んでください。
階段がぬれているので、足元に【注意】してください。

- ア：じゅうい
- イ：ちゅい
- ウ：ちゅうえ
- エ：ちゅうい

答え・解説 正答：エ

ア：「じゅうい」は「注意」の標準的な読みではありません。「注意」は「ちゅうい」と読み、気をつけることを表します。
イ：「ちゅい」は「注意」の標準的な読みではありません。「注意」は「ちゅうい」と読み、気をつけることを表します。
ウ：「ちゅうえ」は「注意」の標準的な読みではありません。「注意」は「ちゅうい」と読み、気をつけることを表します。
エ：正しい読みです。「注意」は「ちゅうい」と読み、気をつけることを表します。

総合解説：「注意」は「ちゅうい」と読み、気をつけることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0021

漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【参加】の読み方として最も適切なものを選んでください。
来週の交流会に【参加】する予定です。

ア：せんか
イ：ざんか
ウ：さんが
エ：さんか

答え・解説

正答：エ

ア：「せんか」は「参加」の標準的な読みではありません。「参加」は「さんか」と読み、集まりや活動に加わることを表します。
イ：「ざんか」は「参加」の標準的な読みではありません。「参加」は「さんか」と読み、集まりや活動に加わることを表します。
ウ：「さんが」は「参加」の標準的な読みではありません。「参加」は「さんか」と読み、集まりや活動に加わることを表します。
エ：正しい読みです。「参加」は「さんか」と読み、集まりや活動に加わることを表します。

総合解説：「参加」は「さんか」と読み、集まりや活動に加わることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0022

漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【交通】の読み方として最も適切なものを選んでください。
雪のため、朝から【交通】が乱れています。

ア：こうとう
イ：こうつう
ウ：ごうつう
エ：こうづう

答え・解説

正答：イ

ア：「こうとう」は「交通」の標準的な読みではありません。「交通」は「こうつう」と読み、人や乗り物が行き来することを表します。
イ：正しい読みです。「交通」は「こうつう」と読み、人や乗り物が行き来することを表します。
ウ：「ごうつう」は「交通」の標準的な読みではありません。「交通」は「こうつう」と読み、人や乗り物が行き来することを表します。
エ：「こうづう」は「交通」の標準的な読みではありません。「交通」は「こうつう」と読み、人や乗り物が行き来することを表します。

総合解説：「交通」は「こうつう」と読み、人や乗り物が行き来することを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0023 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【最近】の読み方として最も適切なものを選んでください。
【最近】、朝早く起きるようになりました。

- ア：さいけん
- イ：ざいきん
- ウ：さいきん
- エ：さいこん

答え・解説 正答：ウ

ア：「さいけん」は「最近」の標準的な読みではありません。「最近」は「さいきん」と読み、今に近い過去・現在ごろを表します。
イ：「ざいきん」は「最近」の標準的な読みではありません。「最近」は「さいきん」と読み、今に近い過去・現在ごろを表します。
ウ：正しい読みです。「最近」は「さいきん」と読み、今に近い過去・現在ごろを表します。
エ：「さいこん」は「最近」の標準的な読みではありません。「最近」は「さいきん」と読み、今に近い過去・現在ごろを表します。

総合解説：「最近」は「さいきん」と読み、今に近い過去・現在ごろを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0024 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【残業】の読み方として最も適切なものを選んでください。
今日は仕事が多くて二時間【残業】しました。

- ア：ざんぎょう
- イ：さんぎょう
- ウ：ざんごう
- エ：ざんきょう

答え・解説 正答：ア

ア：正しい読みです。「残業」は「ざんぎょう」と読み、決められた勤務時間を超えて働くことを表します。
イ：「さんぎょう」は「残業」の標準的な読みではありません。「残業」は「ざんぎょう」と読み、決められた勤務時間を超えて働くことを表します。
ウ：「ざんごう」は「残業」の標準的な読みではありません。「残業」は「ざんぎょう」と読み、決められた勤務時間を超えて働くことを表します。
エ：「ざんきょう」は「残業」の標準的な読みではありません。「残業」は「ざんぎょう」と読み、決められた勤務時間を超えて働くことを表します。

総合解説：「残業」は「ざんぎょう」と読み、決められた勤務時間を超えて働くことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0025 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【故障】の読み方として最も適切なものを選んでください。
エレベーターが【故障】して、使えません。

- ア：こじょう
- イ：ごしょう
- ウ：こうしょう
- エ：こしょう

答え・解説 正答：エ

ア：「こじょう」は「故障」の標準的な読みではありません。「故障」は「こしょう」と読み、機械などが正常に動かなくなることを表します。
イ：「ごしょう」は「故障」の標準的な読みではありません。「故障」は「こしょう」と読み、機械などが正常に動かなくなることを表します。
ウ：「こうしょう」は「故障」の標準的な読みではありません。「故障」は「こしょう」と読み、機械などが正常に動かなくなることを表します。
エ：正しい読みです。「故障」は「こしょう」と読み、機械などが正常に動かなくなることを表します。

総合解説：「故障」は「こしょう」と読み、機械などが正常に動かなくなることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0026 漢字読み > 漢字読み | 難易度：応用

次の文の【確認】の読み方として最も適切なものを選んでください。
予約の日時をもう一度【確認】してください。

- ア：かにん
- イ：かっじん
- ウ：かくじん
- エ：かくにん

答え・解説 正答：エ

ア：「かにん」は「確認」の標準的な読みではありません。「確認」は「かくにん」と読み、確かめることを表します。
イ：「かっじん」は「確認」の標準的な読みではありません。「確認」は「かくにん」と読み、確かめることを表します。
ウ：「かくじん」は「確認」の標準的な読みではありません。「確認」は「かくにん」と読み、確かめることを表します。
エ：正しい読みです。「確認」は「かくにん」と読み、確かめることを表します。

総合解説：「確認」は「かくにん」と読み、確かめることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0027 漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【説明】の読み方として最も適切なものを選んでください。
先生の【説明】を聞いて、やり方が分かりました。

- ア：せつみょう
- イ：せちめい
- ウ：せつめい
- エ：せつべい

答え・解説 正答：ウ

ア：「せつみょう」は「説明」の標準的な読みではありません。「説明」は「せつめい」と読み、内容や理由を分かるように述べることを表します。
イ：「せちめい」は「説明」の標準的な読みではありません。「説明」は「せつめい」と読み、内容や理由を分かるように述べることを表します。
ウ：正しい読みです。「説明」は「せつめい」と読み、内容や理由を分かるように述べることを表します。
エ：「せつべい」は「説明」の標準的な読みではありません。「説明」は「せつめい」と読み、内容や理由を分かるように述べることを表します。

総合解説：「説明」は「せつめい」と読み、内容や理由を分かるように述べることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0028 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【連続】の読み方として最も適切なものを選んでください。
三日【連続】で雨が降っています。

- ア：れんぞっ
- イ：れんそく
- ウ：れんしょく
- エ：れんぞく

答え・解説 正答：エ

ア：「れんぞっ」は「連続」の標準的な読みではありません。「連続」は「れんぞく」と読み、切れずに続くことを表します。
イ：「れんそく」は「連続」の標準的な読みではありません。「連続」は「れんぞく」と読み、切れずに続くことを表します。
ウ：「れんしょく」は「連続」の標準的な読みではありません。「連続」は「れんぞく」と読み、切れずに続くことを表します。
エ：正しい読みです。「連続」は「れんぞく」と読み、切れずに続くことを表します。

総合解説：「連続」は「れんぞく」と読み、切れずに続くことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0029漢字読み > 漢字読み | 難易度：標準

次の文の【改善】の読み方として最も適切なものを選んでください。
利用者の意見をもとにサービスを【改善】しました。

ア：かいせん
イ：かいぜん
ウ：がいぜん
エ：かいせい

答え・解説正答：イ

ア：「かいせん」は「改善」の標準的な読みではありません。「改善」は「かいぜん」と読み、悪い点を改めてよくすることを表します。
イ：正しい読みです。「改善」は「かいぜん」と読み、悪い点を改めてよくすることを表します。
ウ：「がいぜん」は「改善」の標準的な読みではありません。「改善」は「かいぜん」と読み、悪い点を改めてよくすることを表します。
エ：「かいせい」は「改善」の標準的な読みではありません。「改善」は「かいぜん」と読み、悪い点を改めてよくすることを表します。

総合解説：「改善」は「かいぜん」と読み、悪い点を改めてよくすることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0030漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【申込】の読み方として最も適切なものを選んでください。
講座の【申込】は金曜日までです。

ア：もうしこみ
イ：もうしごみ
ウ：もうこみ
エ：しんこみ

答え・解説正答：ア

ア：正しい読みです。「申込」は「もうしこみ」と読み、参加などの意思を伝えて手続きすることを表します。
イ：「もうしごみ」は「申込」の標準的な読みではありません。「申込」は「もうしこみ」と読み、参加などの意思を伝えて手続きすることを表します。
ウ：「もうこみ」は「申込」の標準的な読みではありません。「申込」は「もうしこみ」と読み、参加などの意思を伝えて手続きすることを表します。
エ：「しんこみ」は「申込」の標準的な読みではありません。「申込」は「もうしこみ」と読み、参加などの意思を伝えて手続きすることを表します。

総合解説：「申込」は「もうしこみ」と読み、参加などの意思を伝えて手続きすることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0031 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【返事】の読み方として最も適切なものを選んでください。
メールを読んだら、今日中に【返事】をください。

- ア：へんじ
- イ：へんし
- ウ：べんじ
- エ：へんち

答え・解説 正答：ア

ア：正しい読みです。「返事」は「へんじ」と読み、呼びかけ・連絡に答えることを表します。
イ：「へんし」は「返事」の標準的な読みではありません。「返事」は「へんじ」と読み、呼びかけ・連絡に答えることを表します。
ウ：「べんじ」は「返事」の標準的な読みではありません。「返事」は「へんじ」と読み、呼びかけ・連絡に答えることを表します。
エ：「へんち」は「返事」の標準的な読みではありません。「返事」は「へんじ」と読み、呼びかけ・連絡に答えることを表します。

総合解説：「返事」は「へんじ」と読み、呼びかけ・連絡に答えることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0032 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【案内】の読み方として最も適切なものを選んでください。
受付で会場まで【案内】してもらいました。

- ア：あんらい
- イ：あんだい
- ウ：あんねい
- エ：あんない

答え・解説 正答：エ

ア：「あんらい」は「案内」の標準的な読みではありません。「案内」は「あんない」と読み、場所や方法を知らせて導くことを表します。
イ：「あんだい」は「案内」の標準的な読みではありません。「案内」は「あんない」と読み、場所や方法を知らせて導くことを表します。
ウ：「あんねい」は「案内」の標準的な読みではありません。「案内」は「あんない」と読み、場所や方法を知らせて導くことを表します。
エ：正しい読みです。「案内」は「あんない」と読み、場所や方法を知らせて導くことを表します。

総合解説：「案内」は「あんない」と読み、場所や方法を知らせて導くことを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0033 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【予定】の読み方として最も適切なものを選んでください。
午後は病院へ行く【予定】です。

- ア：よでい
- イ：ようてい
- ウ：よてい
- エ：よたい

答え・解説 正答：ウ

ア：「よでい」は「予定」の標準的な読みではありません。「予定」は「よてい」と読み、前もって決めた計画を表します。
イ：「ようてい」は「予定」の標準的な読みではありません。「予定」は「よてい」と読み、前もって決めた計画を表します。
ウ：正しい読みです。「予定」は「よてい」と読み、前もって決めた計画を表します。
エ：「よたい」は「予定」の標準的な読みではありません。「予定」は「よてい」と読み、前もって決めた計画を表します。

総合解説：「予定」は「よてい」と読み、前もって決めた計画を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0034 漢字読み > 漢字読み | 難易度：基礎

次の文の【関係】の読み方として最も適切なものを選んでください。
この二つの問題には深い【関係】があります。

- ア：かんけん
- イ：かんげい
- ウ：かんけ
- エ：かんけい

答え・解説 正答：エ

ア：「かんけん」は「関係」の標準的な読みではありません。「関係」は「かんけい」と読み、物事どうしのつながりを表します。
イ：「かんげい」は「関係」の標準的な読みではありません。「関係」は「かんけい」と読み、物事どうしのつながりを表します。
ウ：「かんけ」は「関係」の標準的な読みではありません。「関係」は「かんけい」と読み、物事どうしのつながりを表します。
エ：正しい読みです。「関係」は「かんけい」と読み、物事どうしのつながりを表します。

総合解説：「関係」は「かんけい」と読み、物事どうしのつながりを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0035 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【きぼう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
将来は日本で働きたいという【きぼう】があります。

- ア：希忘
- イ：期望
- ウ：希望
- エ：規望

答え・解説 正答：ウ

ア：「希忘」は「きぼう」の正しい漢字表記ではありません。「希望」は、実現してほしいと願うこと。
イ：「期望」は「きぼう」の正しい漢字表記ではありません。「希望」は、実現してほしいと願うこと。
ウ：「きぼう」は文中では「希望」と書きます。「希望」は、実現してほしいと願うこと。
エ：「規望」は「きぼう」の正しい漢字表記ではありません。「希望」は、実現してほしいと願うこと。

総合解説：「希望」は、実現してほしいと願うこと。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0036 表記 > 表記 | 難易度：基礎

次の文の【よてい】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
来週の会議の【よてい】を確認してください。

- ア：予程
- イ：余定
- ウ：予定
- エ：予訂

答え・解説 正答：ウ

ア：「予程」は「よてい」の正しい漢字表記ではありません。「予定」は、これから行うことを前もって決めること。
イ：「余定」は「よてい」の正しい漢字表記ではありません。「予定」は、これから行うことを前もって決めること。
ウ：「よてい」は文中では「予定」と書きます。「予定」は、これから行うことを前もって決めること。
エ：「予訂」は「よてい」の正しい漢字表記ではありません。「予定」は、これから行うことを前もって決めること。

総合解説：「予定」は、これから行うことを前もって決めること。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0037 表記 > 表記 | 難易度：応用

次の文の【じゅんび】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
出発の【じゅんび】はもうできましたか。

ア：順備
イ：準備
ウ：準美
エ：純備

答え・解説 正答：イ

ア：「順備」は「じゅんび」の正しい漢字表記ではありません。「準備」は、必要なものを前もって整えること。

イ：「じゅんび」は文中では「準備」と書きます。「準備」は、必要なものを前もって整えること。

ウ：「準美」は「じゅんび」の正しい漢字表記ではありません。「準備」は、必要なものを前もって整えること。

エ：「純備」は「じゅんび」の正しい漢字表記ではありません。「準備」は、必要なものを前もって整えること。

総合解説：「準備」は、必要なものを前もって整えること。 同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0038 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【せいかつ】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
留学してから、毎日の【せいかつ】が大きく変わりました。

ア：生活
イ：生括
ウ：成活
エ：世活

答え・解説 正答：ア

ア：「せいかつ」は文中では「生活」と書きます。「生活」は、日々暮らすことやその営み。

イ：「生括」は「せいかつ」の正しい漢字表記ではありません。「生活」は、日々暮らすことやその営み。

ウ：「成活」は「せいかつ」の正しい漢字表記ではありません。「生活」は、日々暮らすことやその営み。

エ：「世活」は「せいかつ」の正しい漢字表記ではありません。「生活」は、日々暮らすことやその営み。

総合解説：「生活」は、日々暮らすことやその営み。 同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0039

表記 > 表記 | 難易度：基礎

次の文の【しっぱい】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
一度の【しっぱい】だけであきらめないでください。

ア：失排
イ：失敗
ウ：矢敗
エ：失配

答え・解説

正答：イ

ア：「失排」は「しっぱい」の正しい漢字表記ではありません。「失敗」は、物事をうまく成し遂げられないこと。
イ：「しっぱい」は文中では「失敗」と書きます。「失敗」は、物事をうまく成し遂げられないこと。
ウ：「矢敗」は「しっぱい」の正しい漢字表記ではありません。「失敗」は、物事をうまく成し遂げられないこと。
エ：「失配」は「しっぱい」の正しい漢字表記ではありません。「失敗」は、物事をうまく成し遂げられないこと。

総合解説：「失敗」は、物事をうまく成し遂げられないこと。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0040

表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【たいせつ】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
健康のためには睡眠も【たいせつ】です。

ア：大節
イ：大切
ウ：太切
エ：大説

答え・解説

正答：イ

ア：「大節」は「たいせつ」の正しい漢字表記ではありません。「大切」は、重要で、粗末に扱えないこと。
イ：「たいせつ」は文中では「大切」と書きます。「大切」は、重要で、粗末に扱えないこと。
ウ：「太切」は「たいせつ」の正しい漢字表記ではありません。「大切」は、重要で、粗末に扱えないこと。
エ：「大説」は「たいせつ」の正しい漢字表記ではありません。「大切」は、重要で、粗末に扱えないこと。

総合解説：「大切」は、重要で、粗末に扱えないこと。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0041

表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【しんぱい】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
返事が来ないので、少し【しんぱい】しています。

ア：心配
イ：心敗
ウ：信配
エ：心拝

答え・解説

正答：ア

ア：「しんぱい」は文中では「心配」と書きます。「心配」は、悪いことが起こらないか気にかけること。
イ：「心敗」は「しんぱい」の正しい漢字表記ではありません。「心配」は、悪いことが起こらないか気にかけること。
ウ：「信配」は「しんぱい」の正しい漢字表記ではありません。「心配」は、悪いことが起こらないか気にかけること。
エ：「心拝」は「しんぱい」の正しい漢字表記ではありません。「心配」は、悪いことが起こらないか気にかけること。

総合解説：「心配」は、悪いことが起こらないか気にかけること。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0042

表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【へんじ】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
メールを読んだら、今日中に【へんじ】をください。

ア：返時
イ：反事
ウ：返事
エ：変事

答え・解説

正答：ウ

ア：「返時」は「へんじ」の正しい漢字表記ではありません。「返事」は、呼びかけや連絡に対して答えること。
イ：「反事」は「へんじ」の正しい漢字表記ではありません。「返事」は、呼びかけや連絡に対して答えること。
ウ：「へんじ」は文中では「返事」と書きます。「返事」は、呼びかけや連絡に対して答えること。
エ：「変事」は「へんじ」の正しい漢字表記ではありません。「返事」は、呼びかけや連絡に対して答えること。

総合解説：「返事」は、呼びかけや連絡に対して答えること。同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0043表記 > 表記 | 難易度 : 基礎

次の文の【けしき】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
山の上から見た【けしき】はとてもきれいでした。

ア：影色
イ：景式
ウ：景色
エ：形色

答え・解説正答：ウ

ア：「影色」は「けしき」の正しい漢字表記ではありません。「景色」は、目に見える自然や周囲の眺め。
イ：「景式」は「けしき」の正しい漢字表記ではありません。「景色」は、目に見える自然や周囲の眺め。
ウ：「けしき」は文中では「景色」と書きます。「景色」は、目に見える自然や周囲の眺め。
エ：「形色」は「けしき」の正しい漢字表記ではありません。「景色」は、目に見える自然や周囲の眺め。

総合解説：「景色」は、目に見える自然や周囲の眺め。 同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0044表記 > 表記 | 難易度 : 標準

次の文の【けっか】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
試験の【けっか】は来週発表されます。

ア：結課
イ：結菓
ウ：決果
エ：結果

答え・解説正答：エ

ア：「結課」は「けっか」の正しい漢字表記ではありません。「結果」は、ある行為や出来事の後に生じた状態・成り行き。
イ：「結菓」は「けっか」の正しい漢字表記ではありません。「結果」は、ある行為や出来事の後に生じた状態・成り行き。
ウ：「決果」は「けっか」の正しい漢字表記ではありません。「結果」は、ある行為や出来事の後に生じた状態・成り行き。
エ：「けっか」は文中では「結果」と書きます。「結果」は、ある行為や出来事の後に生じた状態・成り行き。

総合解説：「結果」は、ある行為や出来事の後に生じた状態・成り行き。 同音・類似字に惑わされず、語全体の意味と結び付けて表記を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0045 表記 > 表記 | 難易度：基礎

次の文の【よやく】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
来週のホテルを【よやく】しました。

- ア：予訳
- イ：予役
- ウ：余約
- エ：予約

答え・解説 正答：エ

ア：「予訳」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「よやく」は「予約」と書き、前もって約束・確保することを表します。
イ：「予役」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「よやく」は「予約」と書き、前もって約束・確保することを表します。
ウ：「余約」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「よやく」は「予約」と書き、前もって約束・確保することを表します。
エ：正しい表記です。「よやく」は「予約」と書き、前もって約束・確保することを表します。

総合解説：「よやく」は「予約」と書き、前もって約束・確保することを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0046 表記 > 表記 | 難易度：応用

次の文の【へんこう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
会議の場所が【へんこう】になりました。

- ア：辺更
- イ：変向
- ウ：偏更
- エ：変更

答え・解説 正答：エ

ア：「辺更」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「へんこう」は「変更」と書き、内容を変えることを表します。
イ：「変向」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「へんこう」は「変更」と書き、内容を変えることを表します。
ウ：「偏更」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「へんこう」は「変更」と書き、内容を変えることを表します。
エ：正しい表記です。「へんこう」は「変更」と書き、内容を変えることを表します。

総合解説：「へんこう」は「変更」と書き、内容を変えることを表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0047 表記 > 表記 | 難易度：基礎

次の文の【ひつよう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
申込みには写真が【ひつよう】です。

- ア：必洋
- イ：必用
- ウ：筆要
- エ：必要

答え・解説 正答：エ

ア：「必洋」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ひつよう」は「必要」と書きます。
イ：「必用」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ひつよう」は「必要」と書きます。
ウ：「筆要」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ひつよう」は「必要」と書きます。
エ：正しい表記です。「ひつよう」は「必要」と書きます。

総合解説：「ひつよう」は「必要」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0048 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【そうだん】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
困ったときは先生に【そうだん】してください。

- ア：相談
- イ：想談
- ウ：相断
- エ：総談

答え・解説 正答：ア

ア：正しい表記です。「そうだん」は「相談」と書きます。
イ：「想談」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「そうだん」は「相談」と書きます。
ウ：「相断」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「そうだん」は「相談」と書きます。
エ：「総談」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「そうだん」は「相談」と書きます。

総合解説：「そうだん」は「相談」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0049 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【とうちゃく】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
飛行機は午後三時に【とうちゃく】します。

- ア：倒著
- イ：倒着
- ウ：到著
- エ：到着

答え・解説 正答：エ

ア：「倒著」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「とうちゃく」は「到着」と書きます。
イ：「倒着」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「とうちゃく」は「到着」と書きます。
ウ：「到著」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「とうちゃく」は「到着」と書きます。
エ：正しい表記です。「とうちゃく」は「到着」と書きます。

総合解説：「とうちゃく」は「到着」と書きます。

0050 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【りよう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
この部屋は自由に【りよう】できます。

- ア：利用
- イ：理用
- ウ：利要
- エ：里用

答え・解説 正答：ア

ア：正しい表記です。「りよう」は「利用」と書きます。
イ：「理用」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「りよう」は「利用」と書きます。
ウ：「利要」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「りよう」は「利用」と書きます。
エ：「里用」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「りよう」は「利用」と書きます。

総合解説：「りよう」は「利用」と書きます。

0051 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【ちゅうい】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
車に【ちゅうい】して道を渡ってください。

- ア：注意
- イ：中意
- ウ：注衣
- エ：柱意

答え・解説 正答：ア

ア：正しい表記です。「ちゅうい」は「注意」と書きます。
イ：「中意」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ちゅうい」は「注意」と書きます。
ウ：「注衣」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ちゅうい」は「注意」と書きます。
エ：「柱意」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ちゅうい」は「注意」と書きます。

総合解説：「ちゅうい」は「注意」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0052 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【さんか】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
地域のイベントに【さんか】しました。

- ア：産加
- イ：参可
- ウ：参加
- エ：参賀

答え・解説 正答：ウ

ア：「産加」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さんか」は「参加」と書きます。
イ：「参可」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さんか」は「参加」と書きます。
ウ：正しい表記です。「さんか」は「参加」と書きます。
エ：「参賀」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さんか」は「参加」と書きます。

総合解説：「さんか」は「参加」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0053 表記 > 表記 | 難易度：応用

次の文の【こうつう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
朝は【こうつう】が混んでいます。

- ア：交道
- イ：行通
- ウ：交通
- エ：交痛

答え・解説 正答：ウ

ア：「交道」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こうつう」は「交通」と書きます。
イ：「行通」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こうつう」は「交通」と書きます。
ウ：正しい表記です。「こうつう」は「交通」と書きます。
エ：「交痛」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こうつう」は「交通」と書きます。

総合解説：「こうつう」は「交通」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0054 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【さいきん】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
【さいきん】、料理を始めました。

- ア：再近
- イ：最近
- ウ：最斤
- エ：歳近

答え・解説 正答：イ

ア：「再近」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さいきん」は「最近」と書きます。
イ：正しい表記です。「さいきん」は「最近」と書きます。
ウ：「最斤」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さいきん」は「最近」と書きます。
エ：「歳近」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「さいきん」は「最近」と書きます。

総合解説：「さいきん」は「最近」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0055 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【ざんぎょう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
昨日は二時間【ざんぎょう】しました。

- ア：残ぎょう
- イ：残業
- ウ：在業
- エ：残行

答え・解説 正答：イ

ア：「残ぎょう」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ざんぎょう」は「残業」と書きます。
イ：正しい表記です。「ざんぎょう」は「残業」と書きます。
ウ：「在業」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ざんぎょう」は「残業」と書きます。
エ：「残行」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「ざんぎょう」は「残業」と書きます。

総合解説：「ざんぎょう」は「残業」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0056 表記 > 表記 | 難易度：基礎

次の文の【こしょう】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
コピー機が【こしょう】しています。

- ア：固障
- イ：故障
- ウ：故章
- エ：古障

答え・解説 正答：イ

ア：「固障」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こしょう」は「故障」と書きます。
イ：正しい表記です。「こしょう」は「故障」と書きます。
ウ：「故章」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こしょう」は「故障」と書きます。
エ：「古障」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「こしょう」は「故障」と書きます。

総合解説：「こしょう」は「故障」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0057 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【かくにん】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
時間をもう一度【かくにん】しました。

- ア：覚認
- イ：格認
- ウ：確認
- エ：確任

答え・解説 正答：ウ

ア：「覚認」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かくにん」は「確認」と書きます。
イ：「格認」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かくにん」は「確認」と書きます。
ウ：正しい表記です。「かくにん」は「確認」と書きます。
エ：「確任」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かくにん」は「確認」と書きます。

総合解説：「かくにん」は「確認」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0058 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【せつめい】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
使い方を【せつめい】してください。

- ア：設明
- イ：説明
- ウ：説名
- エ：節明

答え・解説 正答：イ

ア：「設明」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「せつめい」は「説明」と書きます。
イ：正しい表記です。「せつめい」は「説明」と書きます。
ウ：「説名」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「せつめい」は「説明」と書きます。
エ：「節明」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「せつめい」は「説明」と書きます。

総合解説：「せつめい」は「説明」と書きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0059 表記 > 表記 | 難易度：標準

次の文の【れんぞく】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
二日【れんぞく】で遅刻しました。

- ア：連続
- イ：連属
- ウ：練続
- エ：連俗

答え・解説 正答：ア

ア：正しい表記です。「れんぞく」は「連続」と書きます。
イ：「連属」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「れんぞく」は「連続」と書きます。
ウ：「練続」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「れんぞく」は「連続」と書きます。
エ：「連俗」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「れんぞく」は「連続」と書きます。

総合解説：「れんぞく」は「連続」と書きます。

0060 表記 > 表記 | 難易度：応用

次の文の【かいぜん】を漢字で書くとき、最も適切なものを選んでください。
サービスを【かいぜん】する必要があります。

- ア：改前
- イ：改善
- ウ：快善
- エ：解善

答え・解説 正答：イ

ア：「改前」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かいぜん」は「改善」と書きます。
イ：正しい表記です。「かいぜん」は「改善」と書きます。
ウ：「快善」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かいぜん」は「改善」と書きます。
エ：「解善」は、この語の標準的な漢字表記ではありません。「かいぜん」は「改善」と書きます。

総合解説：「かいぜん」は「改善」と書きます。

0061 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
図書館では【 】話してください。

ア：静かで
イ：静かな
ウ：静かに
エ：静かだ

答え・解説 正答：ウ

ア：「静かで」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「静かだ」を動詞「話す」にかけるときは連用形「静かに」を使う。
イ：「静かな」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「静かだ」を動詞「話す」にかけるときは連用形「静かに」を使う。
ウ：ナ形容詞「静かだ」を動詞「話す」にかけるときは連用形「静かに」を使う。
エ：「静かだ」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「静かだ」を動詞「話す」にかけるときは連用形「静かに」を使う。

総合解説：ナ形容詞「静かだ」を動詞「話す」にかけるときは連用形「静かに」を使う。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0062 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
海外旅行にはパスポートが【 】。

ア：必要に
イ：必要です
ウ：必要な
エ：必要で

答え・解説 正答：イ

ア：「必要に」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「必要だ」を文末で丁寧に述べるときは「必要です」が自然。
イ：ナ形容詞「必要だ」を文末で丁寧に述べるときは「必要です」が自然。
ウ：「必要な」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「必要だ」を文末で丁寧に述べるときは「必要です」が自然。
エ：「必要で」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「必要だ」を文末で丁寧に述べるときは「必要です」が自然。

総合解説：ナ形容詞「必要だ」を文末で丁寧に述べるときは「必要です」が自然。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0063 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
店員がとても【 】説明してくれました。

ア：丁寧な
イ：丁寧で
ウ：丁寧に
エ：丁寧だ

答え・解説 正答：ウ

ア：「丁寧な」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「丁寧だ」が動詞「説明する」を修飾するので「丁寧に」とする。
イ：「丁寧で」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「丁寧だ」が動詞「説明する」を修飾するので「丁寧に」とする。
ウ：ナ形容詞「丁寧だ」が動詞「説明する」を修飾するので「丁寧に」とする。
エ：「丁寧だ」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。ナ形容詞「丁寧だ」が動詞「説明する」を修飾するので「丁寧に」とする。

総合解説：ナ形容詞「丁寧だ」が動詞「説明する」を修飾するので「丁寧に」とする。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0064 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
旅行のいちばんの【 】は、現地の料理を食べることです。

ア：楽しく
イ：楽しむ
ウ：楽しみ
エ：楽しい

答え・解説 正答：ウ

ア：「楽しく」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。この文では「いちばんの」に続いて名詞が必要なので「楽しみ」が適切。
イ：「楽しむ」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。この文では「いちばんの」に続いて名詞が必要なので「楽しみ」が適切。
ウ：この文では「いちばんの」に続いて名詞が必要なので「楽しみ」が適切。
エ：「楽しい」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。この文では「いちばんの」に続いて名詞が必要なので「楽しみ」が適切。

総合解説：この文では「いちばんの」に続いて名詞が必要なので「楽しみ」が適切。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0065 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
会社は来年、外国人社員を【 】予定です。

ア：増えて
イ：増える
ウ：増やす
エ：増えた

答え・解説 正答：ウ

ア：「増えて」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。会社が社員の数を意図的に多くするので他動詞「増やす」を使う。
イ：「増える」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。会社が社員の数を意図的に多くするので他動詞「増やす」を使う。
ウ：会社が社員の数を意図的に多くするので他動詞「増やす」を使う。
エ：「増えた」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。会社が社員の数を意図的に多くするので他動詞「増やす」を使う。

総合解説：会社が社員の数を意図的に多くするので他動詞「増やす」を使う。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0066 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
会議の日程は来週に【 】。

ア：決まりました
イ：決めています
ウ：決めさせました
エ：決めました

答え・解説 正答：ア

ア：主語「日程」が自然に決定された状態を述べるので自動詞「決まる」の過去形が適切。
イ：「決めています」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。主語「日程」が自然に決定された状態を述べるので自動詞「決まる」の過去形が適切。
ウ：「決めさせました」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。主語「日程」が自然に決定された状態を述べるので自動詞「決まる」の過去形が適切。
エ：「決めました」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。主語「日程」が自然に決定された状態を述べるので自動詞「決まる」の過去形が適切。

総合解説：主語「日程」が自然に決定された状態を述べるので自動詞「決まる」の過去形が適切。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0067 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
先生は学生を教室に【 】。

- ア：集まりました
イ：集めました
ウ：集まりました
エ：集まっています

答え・解説 正答：イ

ア：「集まりました」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。先生が学生を一か所に集まるようにするので他動詞「集める」を使う。
イ：先生が学生を一か所に集まるようにするので他動詞「集める」を使う。
ウ：「集まりました」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。先生が学生を一か所に集まるようにするので他動詞「集める」を使う。
エ：「集まっています」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。先生が学生を一か所に集まるようにするので他動詞「集める」を使う。

総合解説：先生が学生を一か所に集まるようにするので他動詞「集める」を使う。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0068 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の文の【 】に入るものとして最も適切なものを選んでください。
天気予報によると、雨は明日の夕方まで【 】そうです。

- ア：続く
イ：続いた
ウ：続ける
エ：続けた

答え・解説 正答：ア

ア：未来について雨という現象が継続すると述べるので、自動詞「続く」の非過去形が適切。「続ける」は他動詞で、「続いた」「続けた」は過去形のため文脈に合わない。
イ：「続いた」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。未来について雨という現象が継続すると述べるので、自動詞「続く」の非過去形が適切。「続ける」は他動詞で、「続いた」「続けた」は過去形のため文脈に合わない。
ウ：「続ける」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。未来について雨という現象が継続すると述べるので、自動詞「続く」の非過去形が適切。「続ける」は他動詞で、「続いた」「続けた」は過去形のため文脈に合わない。
エ：「続けた」はこの文の品詞・活用・自他の関係に合いません。未来について雨という現象が継続すると述べるので、自動詞「続く」の非過去形が適切。「続ける」は他動詞で、「続いた」「続けた」は過去形のため文脈に合わない。

総合解説：未来について雨という現象が継続すると述べるので、自動詞「続く」の非過去形が適切。「続ける」は他動詞で、「続いた」「続けた」は過去形のため文脈に合わない。語の意味だけでなく、後続語との文法的なつながりや自動詞・他動詞の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0069 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

()に入る最も適切なものを選んでください。
会社に応募するため、履歴書を三()郵送しました。

- ア：冊
- イ：本
- ウ：通
- エ：軒

答え・解説 正答：ウ

ア：「冊」は本・ノートなど、綴じられたものを数える助数詞です。履歴書には通常使いません。
イ：「本」は細長い物などを数える助数詞で、履歴書には使いません。
ウ：手紙・はがき・書類など、送付するものを数えるときは「通」を用います。ここでは「履歴書を三通」が自然です。
エ：「軒」は家・店などの建物を数える助数詞で、書類には使いません。

総合解説：助数詞は物の形だけでなく、「何として数えるか」によって選びます。郵送する書類・手紙は「一通、二通」と数えるのが基本です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0070 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切なものを選んでください。
京都には二()して、三日目の朝に帰る予定です。

- ア：泊
- イ：日
- ウ：回
- エ：夜

答え・解説 正答：ア

ア：ホテルなどに泊まる回数・宿泊数は「泊」で数え、「二泊する」と言います。
イ：「日」は日数を数えますが、「二日して」はこの文の「宿泊する」という意味にはなりません。
ウ：「回」は行為の回数を数えますが、宿泊日数は「泊」で表すのが自然です。
エ：「夜」は時間帯を表す語で、「二夜して」とは通常言いません。

総合解説：旅行日程では「二泊三日」のように、宿泊数を「泊」、全体的日数を「日」で区別して表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0071 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切なものを選んでください。
この会社では、配達用の車を新しく五()購入しました。

ア：本
イ：個
ウ：軒
エ：台

答え・解説 正答：エ

ア：「本」は細長い物などを数える助数詞で、自動車には使いません。
イ：「個」は一般的な小さな物などを数える助数詞で、自動車には通常「台」を使います。
ウ：「軒」は家・店などの建物を数える助数詞です。
エ：自動車・機械・テレビなどは「台」で数えるため、「車を五台」が適切です。

総合解説：乗り物や大型の機械類には「台」を使うことが多く、「車一台」「パソコン二台」のように表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0072 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切なものを選んでください。
このバスは朝7時から10分()に駅前を出発します。

ア：ほど
イ：おき
ウ：だけ
エ：ずつ

答え・解説 正答：イ

ア：「10分ほど」は「約10分」という概算を表し、「～に」と続けて規則的な間隔を示す形ではありません。
イ：「10分おきに」は「10分という間隔をあけて、繰り返す」という意味です。定期運行の間隔に合います。
ウ：「10分だけ」は時間を限定する表現で、繰り返す間隔を表しません。
エ：「10分ずつ」は、各回に10分を割り当てるような意味になり、出発間隔を示しません。

総合解説：「数+おきに」は、同じ行為・出来事が一定間隔で繰り返されることを示します。「一日おきに」「三駅おきに」などがあります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0073 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切なものを選んでください。
資料は一人に二枚()配ってください。

- ア：ずつ
- イ：しか
- ウ：まで
- エ：ほど

答え・解説 正答：ア

ア：「二枚ずつ」は、それぞれの人に同じ枚数を配るという分配を表します。
イ：「しか」は後ろに否定形を伴い「それ以外はない」を表すため、この文には合いません。
ウ：「まで」は範囲の終点を表し、均等な分配の意味にはなりません。
エ：「ほど」は程度・概数を表しますが、各人に同じ数を割り当てる意味はありません。

総合解説：「ずつ」は「一人二枚ずつ」「毎日三十分ずつ」のように、同じ数量を複数の対象・機会へ割り当てるときに使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0074 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切なものを選んでください。
今年の来場者は2万人で、昨年の1万人の約二()になりました。

- ア：分
- イ：割
- ウ：倍
- エ：組

答え・解説 正答：ウ

ア：「分」は分数や時間などに使いますが、「二分になった」では2倍の意味になりません。
イ：「割」は割合の単位で、一割は10%です。「二割」は20%を表します。
ウ：「二倍」は、基準となる数量の2倍であることを表します。1万人に対して2万人なので適切です。
エ：「組」は人や物のまとまりを数える助数詞で、数量の倍率には使いません。

総合解説：倍率は「倍」で表します。「半分」「三分の一」などの割合表現と区別して理解することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0075 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

次の数量を日本語で表すとき、最も適切なものを選んでください。
「2/3」

- ア：二分の三
- イ：三の二分
- ウ：三分の二
- エ：二の三分

答え・解説 正答：ウ

ア：「二分の三」は3/2を表すため、2/3ではありません。
イ：「三の二分」という語順は、一般的な分数の読み方ではありません。
ウ：日本語の分数は「分母＋分の＋分子」の順で読むため、2/3は「三分の二」です。
エ：「二の三分」という語順も、一般的な分数の読み方ではありません。

総合解説：日本語では1/4を「四分の一」、3/5を「五分の三」のように、分母を先に言います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0076 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切なものを選んでください。
人によって少し違いますが、駅から会場までは歩いて15分()です。

- ア：以内
- イ：ほど
- ウ：おき
- エ：ずつ

答え・解説 正答：イ

ア：「15分以内」は「15分を超えない」という上限を表します。単なる所要時間の目安なら「ほど」が自然です。
イ：「15分ほど」は「だいたい15分」という概数を自然に表します。
ウ：「15分おき」は15分間隔で何かが繰り返される意味です。
エ：「15分ずつ」は数量の分配を表すため、所要時間の目安には合いません。

総合解説：「ほど」「くらい」は概数、「以内」は上限を示します。似た数量表現でも意味の焦点が異なります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0077 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

申込条件として最も自然な文を選んでください。

- ア：申込書は三日ほどに提出してください。
イ：申込書は三日ずつに提出してください。
ウ：申込書は三日以内に提出してください。
エ：申込書は三日おきに提出してください。

答え・解説 正答：ウ

- ア：「三日ほどに」は期限の表現として不自然です。「ほど」は概数を表すのが基本です。
イ：「三日ずつに」は分配を表す「ずつ」の使い方が不適切です。
ウ：「三日以内に」は、今日から数えて三日を超えない範囲で提出するという期限を明確に表します。
エ：「三日おきに」は三日間隔で繰り返し提出する意味になり、1回の提出期限とは異なります。

総合解説：締切・制限では「～以内に」、概算では「～ほど」、反復間隔では「～おきに」を使い分けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0078 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

次の説明として最も適切なものを選んでください。
「18歳未満は入場できません。」

- ア：18歳も「未満」に含まれる。
イ：17歳は入場できる。
ウ：18歳は「未満」に含まれない。
エ：年齢に関係なく入場できる。

答え・解説 正答：ウ

- ア：「未満」は基準となる数を含まないため、18歳は含まれません。
イ：17歳は18歳未満に当たるため、この条件では入場できません。
ウ：「18歳未満」は18歳より小さい年齢を指し、18歳そのものは含みません。
エ：文には年齢による入場制限が明示されているため、年齢に関係ないとは言えません。

総合解説：「未満」は基準値を含まず、「以下」は基準値を含みます。試験では「以上・以下・未満・超」の境界を正確に読むことが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0079 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切なものを選んでください。
道が凍っているので、転ばないように()ください。

ア：気を入れて
イ：気をつけて
ウ：気を持って
エ：気を出して

答え・解説 正答：イ

ア：「気を入れる」は、この意味で一般的に使う定型表現ではありません。
イ：「気をつける」は、危険や失敗がないよう注意するという定型表現です。
ウ：「気を持つ」は「注意する」の意味にはなりません。
エ：「気を出す」も「注意する」という意味の定型表現ではありません。

総合解説：「気をつける」は日常的に非常によく使われる定型表現で、「足元に気をつける」「風邪に気をつける」のように用います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0080 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

留学を終えて帰国する学生が、先生に言う言葉として最も自然なものを選んでください。

ア：先生には大変世話になりました。
イ：先生には大変お世話になりました。
ウ：先生には大変お世話をなりました。
エ：先生には大変お世話をしました。

答え・解説 正答：イ

ア：「世話にならせました」は不自然な使役形で、この場面の定型表現ではありません。
イ：「お世話になりました」は、相手から助けや配慮を受けたことへの感謝を表す定型表現です。
ウ：「お世話をなりました」は助詞の使い方が誤りで、「お世話になりました」と言います。
エ：「お世話をしました」は、自分が相手の面倒を見た意味になり、ここでは立場が逆です。

総合解説：別れや節目の挨拶では「お世話になりました」、現在進行の関係では「お世話になっています」がよく使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0081 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

病院から帰る友人にかけ言葉として最も自然なものを選んでください。

- ア：お大事に。
- イ：お世話さま。
- ウ：ごちそうさま。
- エ：お先に。

答え・解説 正答：ア

ア：「お大事に」は、病気やけがをしている人の回復を願ってかける言葉です。
イ：「お世話さま」は相手の働きや世話に対する労いに近く、病気の友人を気遣う表現ではありません。
ウ：「ごちそうさま」は食事をいただいた後の挨拶です。
エ：「お先に」は自分が先に帰る・失礼するときなどに使う表現です。

総合解説：定型表現は文法的に作るだけでなく、使われる場面と結び付けて覚えることが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0082 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切なものを選んでください。
雨は降らない予報ですが、()傘を持っています。

- ア：念のため
- イ：そのうち
- ウ：せいぜい
- エ：いきなり

答え・解説 正答：ア

ア：「念のため」は、必要ない可能性もあるが、万一に備えて確認・準備するという意味です。
イ：「そのうち」は、今ではなく近い将来の不特定の時点を表します。
ウ：「せいぜい」は最大限でもその程度という意味で、予備の準備を表しません。
エ：「いきなり」は前触れなく突然という意味です。

総合解説：「念のため確認する」「念のため持っていく」のように、万一に備える行動とよく一緒に使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0083 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

()に入る最も適切なものを選んでください。
急げば、9時の電車にまだ()と思います。

ア：間を取る
イ：間に合う
ウ：間に入る
エ：時間を合う

答え・解説 正答：イ

ア：「間を取る」は間隔や時間を置く意味で、電車に乗れる時刻に届く意味ではありません。
イ：「間に合う」は、決められた時刻・期限までに到着したり完成したりすることです。
ウ：「間に入る」は人や物の間に位置する、仲介するなどの意味です。
エ：「時間を合う」は助詞・動詞の組み合わせが不自然です。「時間が合う」なら予定が一致する意味になります。

総合解説：「電車に間に合う」「締切に間に合う」のように、基準となる時刻・期限には助詞「に」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0084 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

仕事のメールを誤って別の人に送ったとき、最も適切な謝罪表現を選んでください。

ア：申し訳ありません。
イ：おかげさまで。
ウ：かしこまりました。
エ：どういたしまして。

答え・解説 正答：ア

ア：「申し訳ありません」は、自分の過失について丁寧に謝る表現です。
イ：「おかげさまで」は相手の助力などへの感謝を含めて自分の良い状況を伝える表現です。
ウ：「かしこまりました」は依頼や注文を丁寧に受けるときの表現です。
エ：「どういたしまして」は感謝されたときの応答です。

総合解説：定型表現は場面・人間関係・目的によって使い分けます。謝罪なら「申し訳ありません」「失礼しました」などが中心です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0085 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

- ()に入る最も適切なものを選んでください。
() 京都まで来たのだから、有名なお寺にも行ってみよう。

ア：せっかく
イ：たちまち
ウ：わざと
エ：まもなく

答え・解説 正答：ア

ア：「せっかく」は、努力して得た機会や、めったにない機会を無駄にしたいくない気持ちを表します。
イ：「たちまち」は非常に短い時間で変化が起こることを表します。
ウ：「わざと」は意図的に行うことを表し、貴重な機会という意味にはなりません。
エ：「まもなく」は近い将来を表す時間表現です。

総合解説：「せっかく～のだから」「せっかく～のに」の形で、得がたい機会や努力を意識した文脈によく使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0086 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

- ()に入る最も適切なものを選んでください。
友達が手伝ってくれた()、引っ越しが早く終わりました。

ア：せいで
イ：おかげで
ウ：ついでに
エ：代わりに

答え・解説 正答：イ

ア：「せいで」は、悪い結果の原因を示すことが多く、この文の「早く終わった」という良い結果には合いません。
イ：「おかげで」は、望ましい結果の原因となった人・事柄への感謝や肯定的評価を含む表現です。
ウ：「ついでに」は、ある行動の機会を利用して別の行動も行うことを表します。
エ：「代わりに」は代理・交換・補償などを表し、原因を示しません。

総合解説：結果への評価が正なら「おかげで」、負なら「せいで」が典型です。ただし文脈や皮肉によって例外的な用法もあります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0087

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

ホテルのフロントで、客から「明日の朝7時にタクシーを呼んでください」と頼まれたときの返答として最も自然なものを選んでください。

ア：ごぶさたしています。
イ：かしこまりました。
ウ：おかげさまで。
エ：とんでもありませんでした。

答え・解説

正答：イ

ア：「ごぶさたしています」は、長く会っていなかった相手への挨拶です。
イ：「かしこまりました」は、接客場面などで相手の依頼・注文を丁寧に承知したことを伝える表現です。
ウ：「おかげさまで」は自分の良い状態を相手の助力などに感謝して述べる表現で、依頼の受諾ではありません。
エ：「とんでもありませんでした」はこの依頼への返答として不自然で、承知の意味になりません。

総合解説：接客・ビジネスでは「承知しました」「かしこまりました」などが依頼を受ける表現として使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0088

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

駅員に「この電車で新宿まで行けますか」と聞いたところ、「中野で中央線に（ ）ください」と言われました。最も適切なものを選んでください。

ア：乗り換えて
イ：取り替えて
ウ：乗り越えて
エ：引き返して

答え・解説

正答：ア

ア：別の電車・路線へ移るときは「電車を乗り換える」と言います。
イ：「取り替える」は物を別の物と交換する意味で、路線を変える意味には通常使いません。
ウ：「乗り越える」は障害を越える、困難を克服するなどの意味で、路線変更とは異なります。
エ：「引き返す」は来た方向へ戻ることです。

総合解説：交通機関では「電車を乗り換える」「バスに乗り換える」のように使います。場面語彙は実際の行動と結び付けて覚えやす。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0089 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

先生にメールします。
「熱があるため、明日の授業を（ ）します。」

ア：欠航
イ：欠席
ウ：欠品
エ：欠点

答え・解説 正答：イ

ア：「欠航」は飛行機・船などの運航を取りやめることです。
イ：授業・会議などに出ないことは「欠席する」と言います。
ウ：「欠品」は商品が在庫切れであることを表します。
エ：「欠点」は短所や不足している点を表す名詞です。

総合解説：「欠席」は人が授業・会議などに出ない場合、「欠航」は交通機関が運休する場合など、似た「欠～」でも対象が異なります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0090 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

図書館の案内です。
「借りた本は、2週間以内にカウンターへ（ ）してください。」

ア：返信
イ：返金
ウ：返却
エ：返事

答え・解説 正答：ウ

ア：「返信」はメールや手紙に返事を送ることです。
イ：「返金」は支払ったお金を返すことです。
ウ：借りた物を元の場所・所有者へ返すことは「返却」と言い、本には「返却する」が適切です。
エ：「返事」は問いかけや連絡への応答で、「本を返事する」とは言いません。

総合解説：場面によって「返す」の名詞形を使い分けます。本・カードなどは「返却」、メールは「返信」、代金は「返金」です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0091 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

買ったシャツに大きな傷がありました。店で「未使用なので、（ ）できますか」と聞きました。

ア：返却
イ：返送
ウ：返品
エ：返事

答え・解説 正答：ウ

ア：「返却」は借りた物を返す場面でよく使われ、購入品を店に戻すなら「返品」が適切です。
イ：「返送」は物を送り返す動作を表しますが、店頭で購入品を返す制度・行為そのものは「返品」と言うのが自然です。
ウ：購入した商品を店へ返すことは「返品する」と言います。
エ：「返事」は応答を意味し、商品を返す意味ではありません。

総合解説：「返品」は購入品、「返却」は借用品、「返送」は送り返す手段・動作という違いを押さえます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0092 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

会社で上司に言われました。
「この報告書は金曜日までに（ ）してください。」

ア：出発
イ：出版
ウ：出演
エ：提出

答え・解説 正答：エ

ア：「出発」は場所を出て目的地へ向かうことです。
イ：「出版」は本などを発行することです。
ウ：「出演」は番組・舞台などに出ることです。
エ：書類・課題などを決められた相手や機関へ出すことは「提出する」と言います。

総合解説：「提出」はレポート・申込書・報告書などと強く結びつく語です。動詞と目的語の自然な組み合わせを覚えます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0093 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

レストランに電話すると、「今夜7時は（ ）ですが、8時なら席があります」と言われました。

- ア：満足
- イ：満点
- ウ：満開
- エ：満席

答え・解説 正答：エ

ア：「満足」は望みが十分かなって不満がない状態を表します。
イ：「満点」は試験などで最高点を取ることです。
ウ：「満開」は花が十分に咲いている状態です。
エ：座席がすべて埋まっている状態は「満席」です。レストランの席の予約場面に合います。

総合解説：「満席」は座席、「満員」は人数、「満点」は得点、「満開」は花のように、同じ「満～」でも結び付く対象が異なります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0094 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

運動会は大雨のため、来週の日曜日に（ ）されることになりました。

- ア：延長
- イ：延期
- ウ：中止
- エ：停止

答え・解説 正答：イ

ア：「延長」は時間や期間を長くすることです。開催日を別の日に移す意味とは異なります。
イ：予定していた行事を後の日に移すことは「延期する」と言います。
ウ：「中止」は行事そのものを取りやめることです。来週行うので中止ではありません。
エ：「停止」は動作・機能などを止めることを表し、行事の日程変更には通常使いません。

総合解説：「延期」は後日に実施する予定が残ります。「中止」は実施を取りやめる点が大きな違いです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0095 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

病院の受付で「以前こちらに来たことがありますか。あれば（ ）を出してください」と言われました。

- ア：定期券
- イ：乗車券
- ウ：入場券
- エ：診察券

答え・解説 正答：エ

ア：「定期券」は一定期間、交通機関などを利用するための券です。
イ：「乗車券」は電車・バスなどに乗るための券です。
ウ：「入場券」は施設・会場に入るための券です。
エ：病院で患者情報や受診記録を確認するために使うカードは「診察券」です。

総合解説：「～券」は用途によって語が変わります。病院では「診察券」、交通では「乗車券」「定期券」などを使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0096 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

来月、大阪の会社へ転職するため、家族と一緒に大阪へ（ ）することになりました。

- ア：引き出し
- イ：引き受け
- ウ：引っ越し
- エ：引き分け

答え・解説 正答：ウ

ア：「引き出し」は家具の一部、または預金などを取り出すことを表します。
イ：「引き受け」は仕事・責任などを受け持つことです。
ウ：住む場所を別の家・地域へ移すことは「引っ越しする」と言います。
エ：「引き分け」は勝負で勝敗がつかないことです。

総合解説：同じ「引き～」でも意味は大きく異なります。場面全体から、住居移動を表す「引っ越し」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0097

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切な語を選んでください。
台風が近づいているため、明日の試合は来週に()されました。

ア：省略
イ：延期
ウ：交換
エ：移動

答え・解説

正答：イ

ア：「省略する」は一部を省くことです。
イ：「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすことです。「来週に」とあるので適切です。
ウ：「交換する」は互いに取り替えることです。
エ：「移動する」は場所を移ることが中心で、予定日を後へずらす意味には通常「延期」を使います。

総合解説：日時の変更で「後日にする」なら「延期」、完全にやめるなら「中止」です。結果の違いを意識します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0098

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
時間がないので、詳しい説明は()、結論だけ話します。

ア：加えて
イ：省いて
ウ：防いで
エ：支えて

答え・解説

正答：イ

ア：「加える」は追加する意味で、説明を減らす文脈と逆です。
イ：「省く」は、必要性の低い部分などを取り除いて短くする意味です。詳しい説明をせず結論だけ話す文脈に合います。
ウ：「防ぐ」は悪いことが起こらないようにする意味です。
エ：「支える」は倒れないように保つ、助けるなどの意味です。

総合解説：「手順を省く」「説明を省く」のように、全体の一部を取り除くときに「省く」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0099 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切な語を選んでください。
出かける前に、窓の鍵が閉まっているかももう一度()ました。

- ア：認め
- イ：確かめ
- ウ：まとめ
- エ：眺め

答え・解説 正答：イ

ア：「認める」は存在や事実を受け入れる、許可するなどの意味です。
イ：「確かめる」は、本当にそうかどうかを確認することです。鍵の状態を確認する文脈に合います。
ウ：「まとめる」は複数のものを整理・集約することです。
エ：「眺める」は景色などをじっと見ることです。

総合解説：「確かめる」は「時間を確かめる」「内容を確認する」のように、誤りがないか確認するときに使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0100 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
日本に来たばかりのころは大変でしたが、今は生活にもすっかり()ました。

- ア：飽き
- イ：冷め
- ウ：欠け
- エ：慣れ

答え・解説 正答：エ

ア：「飽きる」は同じことが続いて嫌になる・興味が薄れることです。
イ：「冷める」は温度が下がる、感情が弱くなるなどの意味です。
ウ：「欠ける」は一部がなくなる、不足するなどの意味です。
エ：「慣れる」は、経験を重ねてその環境や行動を普通に感じるようになることです。

総合解説：「生活に慣れる」「仕事に慣れる」のように、対象には助詞「に」を伴うことが多いです。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0101

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
風邪を()のために、帰宅したら手を洗うようにしています。

ア：譲る
イ：防ぐ
ウ：含む
エ：余る

答え・解説

正答：イ

ア：「譲る」は自分の物・順番などを相手に渡す意味です。
イ：「防ぐ」は、悪いこと・危険などが起こらないようにすることです。風邪の予防という文脈に合います。
ウ：「含む」は中に入っている・一部として持つ意味です。
エ：「余る」は必要量より多く残ることです。

総合解説：「事故を防ぐ」「感染を防ぐ」のように、好ましくない出来事の発生を避けるときに使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0102

文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
この料金には、朝食代も()まれています。

ア：囲
イ：混
ウ：包
エ：含

答え・解説

正答：エ

ア：「囲まれる」は周囲を取り囲まれることです。
イ：「混まれる」という形はこの意味では使いません。「混む」は人や物が多く密集することです。
ウ：「包まれる」は物理的に包まれる、雰囲気覆われるなどの意味です。
エ：「含まれる」は、全体の中に一部として入っていることを表します。「料金に朝食代が含まれる」が自然です。

総合解説：料金・成分・内容などに「何かが入っている」ことを表すとき、「～に含まれる」がよく使われます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0103 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

()に入る最も適切な語を選んでください。
料理を作りすぎてしまい、かなり()しました。

- ア：減って
- イ：欠けて
- ウ：縮んで
- エ：余って

答え・解説 正答：エ

ア：「減る」は数量が少なくなることです。
イ：「欠ける」は一部分がなくなる、必要なものが不足することです。
ウ：「縮む」は長さ・大きさが小さくなることです。
エ：「余る」は、必要な量より多くて残ることです。料理を作りすぎた結果に合います。

総合解説：「時間が余る」「食べ物が余る」のように、必要量を超えて残った状態を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0104 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
白い壁に赤いポスターを貼ったので、とても()ます。

- ア：近づき
- イ：重なり
- ウ：目立ち
- エ：落ち着き

答え・解説 正答：ウ

ア：「近づく」は距離が短くなることです。
イ：「重なる」は物や出来事が同じ位置・時期にかぶることです。
ウ：「目立つ」は、周囲と違っていて人の目につきやすいことです。白い壁の赤いポスターに合います。
エ：「落ち着く」は静かな状態になる、気持ちが安定するなどの意味です。

総合解説：色・形・行動などが周囲から際立つとき「目立つ」と言います。「目立つ色」「目立つ場所」のようにも使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0105 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：応用

()に入る最も適切な語を選んでください。
家族の応援が、苦しい時期の私をずっと()くれました。

- ア：支えて
- イ：断って
- ウ：省いて
- エ：乱して

答え・解説 正答：ア

ア：「支える」は、物理的に倒れないよう保つだけでなく、人を精神的・生活的に助ける意味でも使います。
イ：「断る」は依頼などを受けないと伝える意味です。
ウ：「省く」は一部を取り除く意味です。
エ：「乱す」は整っている状態を崩す意味です。

総合解説：「柱が屋根を支える」のような物理的用法と、「家族が生活を支える」のような抽象的用法の両方があります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0106 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：標準

()に入る最も適切な語を選んでください。
その日は予定があるので、残念ですが誘いを()ことにしました。

- ア：守る
- イ：譲る
- ウ：断る
- エ：配る

答え・解説 正答：ウ

ア：「誘いを守る」とは通常言いません。「約束を守る」などと使います。
イ：「譲る」は物・順番・権利などを相手に渡す意味です。
ウ：「誘いを断る」は、招待・依頼などを受けない意思を伝えることです。
エ：「配る」は複数の人へ物などを渡すことです。

総合解説：「依頼を断る」「誘いを断る」「申し出を断る」のように、受諾しない対象と結び付きます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0107 文脈規定 > 文脈規定 | 難易度：基礎

()に入る最も適切な語を選んでください。
電車でお年寄りが乗ってきたので、席を()ました。

- ア：譲り
- イ：配り
- ウ：断り
- エ：移り

答え・解説 正答：ア

ア：「席を譲る」は、自分が使っている席を他の人に使ってもらうことです。
イ：「席を配る」とは通常言いません。物や資料などを複数の人に渡すとき「配る」を使います。
ウ：「席を断る」は不自然な組み合わせです。
エ：「移る」は自分が別の場所へ動く意味で、「席を相手に渡す」という行為そのものは「譲る」です。

総合解説：「席を譲る」「順番を譲る」のように、自分の権利・位置などを相手へ渡すときに使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0108 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【たまたま】に最も近い意味を選んでください。
駅で【たまたま】高校時代の友達に会った。

- ア：約束どおりに
- イ：何度も
- ウ：偶然に
- エ：急いで

答え・解説 正答：ウ

ア：「約束どおりに」では文の意味に合いません。「たまたま」は、予定していなかったことが偶然起こる様子。
イ：「何度も」では文の意味に合いません。「たまたま」は、予定していなかったことが偶然起こる様子。
ウ：文中の「たまたま」は「偶然に」という意味で使われています。「たまたま」は、予定していなかったことが偶然起こる様子。
エ：「急いで」では文の意味に合いません。「たまたま」は、予定していなかったことが偶然起こる様子。

総合解説：「たまたま」は、予定していなかったことが偶然起こる様子。 JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0109 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【かなり】に最も近い意味を選んでください。
この店の料理は【かなり】辛いので、辛い物が苦手な人は注意してください。

ア：少しだけ
イ：まったく
ウ：だいたい同じ
エ：程度が相当に高い

答え・解説 正答：エ

ア：「少しだけ」では文の意味に合いません。「かなり」は、程度が普通より相当に高いことを表す。
イ：「まったく」では文の意味に合いません。「かなり」は、程度が普通より相当に高いことを表す。
ウ：「だいたい同じ」では文の意味に合いません。「かなり」は、程度が普通より相当に高いことを表す。
エ：文中の「かなり」は「程度が相当に高い」という意味で使われています。「かなり」は、程度が普通より相当に高いことを表す。

総合解説：「かなり」は、程度が普通より相当に高いことを表す。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0110 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：応用

次の文の【そろそろ】に最も近い意味を選んでください。
もう10時です。【そろそろ】帰りましょう。

ア：絶対に
イ：すぐに走って
ウ：何度も繰り返して
エ：ちょうどよい時期が近づいたので

答え・解説 正答：エ

ア：「絶対に」では文の意味に合いません。「そろそろ」は、ある行動を始めるのに適した時が近づいた様子。
イ：「すぐに走って」では文の意味に合いません。「そろそろ」は、ある行動を始めるのに適した時が近づいた様子。
ウ：「何度も繰り返して」では文の意味に合いません。「そろそろ」は、ある行動を始めるのに適した時が近づいた様子。
エ：文中の「そろそろ」は「ちょうどよい時期が近づいたので」という意味で使われています。「そろそろ」は、ある行動を始めるのに適した時が近づいた様子。

総合解説：「そろそろ」は、ある行動を始めるのに適した時が近づいた様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0111 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【やっと】に最も近い意味を選んでください。
三時間待って、【やっと】バスが来た。

- ア：長く待った末にようやく
イ：予定より早く
ウ：簡単に
エ：偶然

答え・解説 正答：ア

ア：文中の「やっと」は「長く待った末にようやく」という意味で使われています。「やっと」は、時間や苦労を経て目的の状態に達する様子。
イ：「予定より早く」では文の意味に合いません。「やっと」は、時間や苦労を経て目的の状態に達する様子。
ウ：「簡単に」では文の意味に合いません。「やっと」は、時間や苦労を経て目的の状態に達する様子。
エ：「偶然」では文の意味に合いません。「やっと」は、時間や苦労を経て目的の状態に達する様子。

総合解説：「やっと」は、時間や苦労を経て目的の状態に達する様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0112 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：応用

次の文の【きちんと】に最も近い意味を選んでください。
書類は名前まで【きちんと】書いてください。

- ア：小さな声で
イ：正しく整った状態で
ウ：急に
エ：適当に

答え・解説 正答：イ

ア：「小さな声で」では文の意味に合いません。「きちんと」は、乱れや不足がなく正確・整然としている様子。
イ：文中の「きちんと」は「正しく整った状態で」という意味で使われています。「きちんと」は、乱れや不足がなく正確・整然としている様子。
ウ：「急に」では文の意味に合いません。「きちんと」は、乱れや不足がなく正確・整然としている様子。
エ：「適当に」では文の意味に合いません。「きちんと」は、乱れや不足がなく正確・整然としている様子。

総合解説：「きちんと」は、乱れや不足がなく正確・整然としている様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0113 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【ぐっすり】に最も近い意味を選んでください。
昨日は疲れていたので、朝まで【ぐっすり】眠った。

- ア：何度も目を覚ましなが
イ：短い時間だけ
ウ：ほとんど眠らず
エ：深くよく

答え・解説 正答：エ

ア：「何度も目を覚ましなが」では文の意味に合いません。「ぐっすり」は、途中で目を覚まさないほど深く眠る様子。
イ：「短い時間だけ」では文の意味に合いません。「ぐっすり」は、途中で目を覚まさないほど深く眠る様子。
ウ：「ほとんど眠らず」では文の意味に合いません。「ぐっすり」は、途中で目を覚まさないほど深く眠る様子。
エ：文中の「ぐっすり」は「深くよく」という意味で使われています。「ぐっすり」は、途中で目を覚まさないほど深く眠る様子。

総合解説：「ぐっすり」は、途中で目を覚まさないほど深く眠る様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0114 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：応用

次の文の【うっかり】に最も近い意味を選んでください。
【うっかり】財布を家に忘れてきた。

- ア：十分に考えて
イ：わざと
ウ：急いで命令されて
エ：注意が足りず、つい

答え・解説 正答：エ

ア：「十分に考えて」では文の意味に合いません。「うっかり」は、注意不足で思わぬ失敗をする様子。
イ：「わざと」では文の意味に合いません。「うっかり」は、注意不足で思わぬ失敗をする様子。
ウ：「急いで命令されて」では文の意味に合いません。「うっかり」は、注意不足で思わぬ失敗をする様子。
エ：文中の「うっかり」は「注意が足りず、つい」という意味で使われています。「うっかり」は、注意不足で思わぬ失敗をする様子。

総合解説：「うっかり」は、注意不足で思わぬ失敗をする様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0115 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【ぴったり】に最も近い意味を選んでください。
この靴は私の足に【ぴったり】だ。

- ア：大きさや条件がちょうど合う
イ：少し大きすぎる
ウ：すぐ壊れそうだ
エ：色が派手だ

答え・解説 正答：ア

ア：文中の「ぴったり」は「大きさや条件がちょうど合う」という意味で使われています。「ぴったり」は、大きさ・条件などがちょうどよく一致する様子。
イ：「少し大きすぎる」では文の意味に合いません。「ぴったり」は、大きさ・条件などがちょうどよく一致する様子。
ウ：「すぐ壊れそうだ」では文の意味に合いません。「ぴったり」は、大きさ・条件などがちょうどよく一致する様子。
エ：「色が派手だ」では文の意味に合いません。「ぴったり」は、大きさ・条件などがちょうどよく一致する様子。

総合解説：「ぴったり」は、大きさ・条件などがちょうどよく一致する様子。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0116 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【めったに】に最も近い意味を選んでください。
彼は忙しくて、最近は映画を【めったに】見ない。

- ア：いつも
イ：ときどき必ず
ウ：ほとんど～ない
エ：一度だけ

答え・解説 正答：ウ

ア：「いつも」では文の意味に合いません。「めったに～ない」は、頻度が非常に低いことを表す。
イ：「ときどき必ず」では文の意味に合いません。「めったに～ない」は、頻度が非常に低いことを表す。
ウ：文中の「めったに」は「ほとんど～ない」という意味で使われています。「めったに～ない」は、頻度が非常に低いことを表す。
エ：「一度だけ」では文の意味に合いません。「めったに～ない」は、頻度が非常に低いことを表す。

総合解説：「めったに～ない」は、頻度が非常に低いことを表す。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0117 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【急に】に最も近い意味を選んでください。
晴れていたのに、【急に】雨が降り出した。

- ア：予定どおり
- イ：突然
- ウ：少しずつ必ず
- エ：ゆっくり

答え・解説 正答：イ

ア：「予定どおり」では文の意味に合いません。「急に」は、変化や出来事が突然起こること。
イ：文中の「急に」は「突然」という意味で使われています。「急に」は、変化や出来事が突然起こること。
ウ：「少しずつ必ず」では文の意味に合いません。「急に」は、変化や出来事が突然起こること。
エ：「ゆっくり」では文の意味に合いません。「急に」は、変化や出来事が突然起こること。

総合解説：「急に」は、変化や出来事が突然起こること。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0118 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【たしか】に最も近い意味を選んでください。
【たしか】この店は9時まで開いていたと思います。

- ア：何度も確認した結果必ず
- イ：記憶では間違いなければ
- ウ：まったく知らないが
- エ：絶対に証明できるので

答え・解説 正答：イ

ア：「何度も確認した結果必ず」では文の意味に合いません。副詞的な「たしか」は、完全な確信ではないが記憶上そうだと思うことを表す。
イ：文中の「たしか」は「記憶では間違いなければ」という意味で使われています。副詞的な「たしか」は、完全な確信ではないが記憶上そうだと思うことを表す。
ウ：「まったく知らないが」では文の意味に合いません。副詞的な「たしか」は、完全な確信ではないが記憶上そうだと思うことを表す。
エ：「絶対に証明できるので」では文の意味に合いません。副詞的な「たしか」は、完全な確信ではないが記憶上そうだと思うことを表す。

総合解説：副詞的な「たしか」は、完全な確信ではないが記憶上そうだと思うことを表す。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0119 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【間に合った】に最も近い意味を選んでください。
電車が遅れたが、会議には【間に合った】。

- ア：開始後かなり遅れて着いた
- イ：必要な時刻までに着いた
- ウ：会議を中止した
- エ：会議の場所を間違えた

答え・解説 正答：イ

ア：「開始後かなり遅れて着いた」では文の意味に合いません。「間に合う」は、決められた時刻や必要な期限に遅れないこと。
イ：文中の「間に合った」は「必要な時刻までに着いた」という意味で使われています。「間に合う」は、決められた時刻や必要な期限に遅れないこと。
ウ：「会議を中止した」では文の意味に合いません。「間に合う」は、決められた時刻や必要な期限に遅れないこと。
エ：「会議の場所を間違えた」では文の意味に合いません。「間に合う」は、決められた時刻や必要な期限に遅れないこと。

総合解説：「間に合う」は、決められた時刻や必要な期限に遅れないこと。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0120 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【断った】に最も近い意味を選んでください。
今日は予定があるので、飲み会の誘いを【断った】。

- ア：受けないと伝えた
- イ：別の人に紹介した
- ウ：すぐ承諾した
- エ：予定を忘れた

答え・解説 正答：ア

ア：文中の「断った」は「受けないと伝えた」という意味で使われています。「断る」は、依頼・誘いなどを受けない意思を相手に伝えること。
イ：「別の人に紹介した」では文の意味に合いません。「断る」は、依頼・誘いなどを受けない意思を相手に伝えること。
ウ：「すぐ承諾した」では文の意味に合いません。「断る」は、依頼・誘いなどを受けない意思を相手に伝えること。
エ：「予定を忘れた」では文の意味に合いません。「断る」は、依頼・誘いなどを受けない意思を相手に伝えること。

総合解説：「断る」は、依頼・誘いなどを受けない意思を相手に伝えること。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0121 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【片付けて】に最も近い意味を選んでください。
お客さんが来る前に、部屋を【片付けて】おこう。

- ア：家具を全部捨てる
- イ：物を整理してきれいにする
- ウ：電気を消して眠る
- エ：部屋から外へ出る

答え・解説 正答：イ

ア：「家具を全部捨てる」では文の意味に合いません。「片付ける」は、散らかった物を整理し、整った状態にすること。
イ：文中の「片付けて」は「物を整理してきれいにする」という意味で使われています。「片付ける」は、散らかった物を整理し、整った状態にすること。
ウ：「電気を消して眠る」では文の意味に合いません。「片付ける」は、散らかった物を整理し、整った状態にすること。
エ：「部屋から外へ出る」では文の意味に合いません。「片付ける」は、散らかった物を整理し、整った状態にすること。

総合解説：「片付ける」は、散らかった物を整理し、整った状態にすること。JLPTでは、辞書的な意味だけでなく、文中でどの意味が成立するかを判断することが重要です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0122 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【延期されました】と意味が最も近いものを選んでください。
会議は来週に【延期されました】。

- ア：予定どおり終わりました
- イ：予定より後の日に変わりました
- ウ：予定より早く終わりました
- エ：完全に中止になりました

答え・解説 正答：イ

ア：「予定どおり終わりました」は「延期されました」の意味と一致しません。「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすこと。
イ：「延期されました」はこの文では「予定より後の日に変わりました」と言い換えられます。「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすこと。
ウ：「予定より早く終わりました」は「延期されました」の意味と一致しません。「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすこと。
エ：「完全に中止になりました」は「延期されました」の意味と一致しません。「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすこと。

総合解説：「延期する」は、予定していた日時を後に延ばすこと。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0123 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【確認してください】と意味が最も近いものを選んでください。
申込内容をもう一度【確認してください】。

- ア：新しく作り直してください
- イ：すぐ捨ててください
- ウ：誰にも見せないでください
- エ：間違いがないか確かめてください

答え・解説 正答：エ

ア：「新しく作り直してください」は「確認してください」の意味と一致しません。「確認する」は、事実や内容に間違いがないか確かめること。
イ：「すぐ捨ててください」は「確認してください」の意味と一致しません。「確認する」は、事実や内容に間違いがないか確かめること。
ウ：「誰にも見せないでください」は「確認してください」の意味と一致しません。「確認する」は、事実や内容に間違いがないか確かめること。
エ：「確認してください」はこの文では「間違いがないか確かめてください」と言い換えられます。「確認する」は、事実や内容に間違いがないか確かめること。

総合解説：「確認する」は、事実や内容に間違いがないか確かめること。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0124 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：応用

次の文の【利用できます】と意味が最も近いものを選んでください。
この図書館はだれでも【利用できます】。

- ア：使うことができます
- イ：建てることができます
- ウ：買うことができます
- エ：閉めることができます

答え・解説 正答：ア

ア：「利用できます」はこの文では「使うことができます」と言い換えられます。「利用する」は、目的のために使うこと。
イ：「建てることができます」は「利用できます」の意味と一致しません。「利用する」は、目的のために使うこと。
ウ：「買うことができます」は「利用できます」の意味と一致しません。「利用する」は、目的のために使うこと。
エ：「閉めることができます」は「利用できます」の意味と一致しません。「利用する」は、目的のために使うこと。

総合解説：「利用する」は、目的のために使うこと。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0125 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【増えています】と意味が最も近いものを選んでください。
最近、この町では外国人の住民が【増えています】。

- ア：少なくなっています
イ：変わっていません
ウ：移動できません
エ：多くなっています

答え・解説 正答：エ

ア：「少なくなっています」は「増えています」の意味と一致しません。「増える」は、数や量が多くなること。
イ：「変わっていません」は「増えています」の意味と一致しません。「増える」は、数や量が多くなること。
ウ：「移動できません」は「増えています」の意味と一致しません。「増える」は、数や量が多くなること。
エ：「増えています」はこの文では「多くなっています」と言い換えられます。「増える」は、数や量が多くなること。

総合解説：「増える」は、数や量が多くなること。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0126 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【必要です】と意味が最も近いものを選んでください。
この手続にはパスポートが【必要です】。

- ア：あっても使えません
イ：忘れても問題ありません
ウ：持ってはいけません
エ：なくてはなりません

答え・解説 正答：エ

ア：「あっても使えません」は「必要です」の意味と一致しません。「必要」は、目的のためになくってはならないこと。
イ：「忘れても問題ありません」は「必要です」の意味と一致しません。「必要」は、目的のためになくってはならないこと。
ウ：「持ってはいけません」は「必要です」の意味と一致しません。「必要」は、目的のためになくってはならないこと。
エ：「必要です」はこの文では「なくてはなりません」と言い換えられます。「必要」は、目的のためになくってはならないこと。

総合解説：「必要」は、目的のためになくってはならないこと。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0127 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：標準

次の文の【たぶん】と意味が最も近いものを選んでください。
田中さんは【たぶん】もう帰ったと思います。

ア：おそらく
イ：必ず
ウ：まったく
エ：わざと

答え・解説 正答：ア

ア：「たぶん」はこの文では「おそらく」と言い換えられます。「たぶん」は、確実ではないが可能性が高いと判断する表現。
イ：「必ず」は「たぶん」の意味と一致しません。「たぶん」は、確実ではないが可能性が高いと判断する表現。
ウ：「まったく」は「たぶん」の意味と一致しません。「たぶん」は、確実ではないが可能性が高いと判断する表現。
エ：「わざと」は「たぶん」の意味と一致しません。「たぶん」は、確実ではないが可能性が高いと判断する表現。

総合解説：「たぶん」は、確実ではないが可能性が高いと判断する表現。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0128 言い換え類義 > 言い換え類義 | 難易度：基礎

次の文の【まもなく】と意味が最も近いものを選んでください。
電車は【まもなく】到着します。

ア：ずっと前に
イ：もうすぐ
ウ：たまた
エ：何時間後後に必ず

答え・解説 正答：イ

ア：「ずっと前に」は「まもなく」の意味と一致しません。「まもなく」は、時間的に間を置かず、もうすぐという意味。
イ：「まもなく」はこの文では「もうすぐ」と言い換えられます。「まもなく」は、時間的に間を置かず、もうすぐという意味。
ウ：「たまた」は「まもなく」の意味と一致しません。「まもなく」は、時間的に間を置かず、もうすぐという意味。
エ：「何時間後後に必ず」は「まもなく」の意味と一致しません。「まもなく」は、時間的に間を置かず、もうすぐという意味。

総合解説：「まもなく」は、時間的に間を置かず、もうすぐという意味。文全体を置き換えても意味関係が大きく変わらない表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0129 用法 > 用法 | 難易度：応用

「うっかり」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：財布を家にうっかり忘れてきました。
- イ：健康のため、私は毎朝うっかり30分歩いています。
- ウ：この店は駅の前にうっかり建っています。
- エ：先生は大切な点をうっかり丁寧に説明しました。

答え・解説 正答：ア

- ア：適切です。「うっかり」はここでは注意が足りず、思わず失敗することという意味・用法で自然に使われています。
- イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「うっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
- ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「うっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
- エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「うっかり」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「うっかり」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、注意が足りず、思わず失敗することという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0130 用法 > 用法 | 難易度：基礎

「すっかり」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：薬を飲んで休んだら、熱はすっかり下がりました。
- イ：私は毎朝すっかり七時に起きています。
- ウ：会議はすっかり午後三時から始まります。
- エ：このかばんはすっかり重いので持てません。

答え・解説 正答：ア

- ア：適切です。「すっかり」はここでは完全に、残らずという程度という意味・用法で自然に使われています。
- イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「すっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
- ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「すっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
- エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「すっかり」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「すっかり」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、完全に、残らずという程度という用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0131 用法 > 用法 | 難易度：応用

「そっくり」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：私は宿題をそっくり先生に提出しました。
イ：電車は事故のためそっくり遅れました。
ウ：この兄弟は顔も話し方もそっくりです。
エ：今日は昨日よりそっくり暑いです。

答え・解説 正答：ウ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「そっくり」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「そっくり」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「そっくり」はここでは二つのものが非常によく似ていることという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「そっくり」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「そっくり」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、二つのものが非常によく似ていることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0132 用法 > 用法 | 難易度：標準

「めったに」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：駅前の店はめったに広くて便利です。
イ：私は健康のため、めったに毎朝走っています。
ウ：この電車はめったに十分後に来ます。
エ：この町では冬でもめったに雪が降りません。

答え・解説 正答：エ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「めったに」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「めったに」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「めったに」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「めったに」はここでは「～ない」とともに、ほとんど起こらないことという意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「めったに」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、「～ない」とともに、ほとんど起こらないことという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0133 用法 > 用法 | 難易度：応用

「かなり」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：この薬は一日かなり二回飲んでください。
イ：私はかなり本を三冊買いました。
ウ：会議はかなり午後二時から始まります。
エ：駅から学校まではかなり距離があります。

答え・解説 正答：エ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「かなり」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「かなり」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「かなり」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「かなり」はここでは程度が予想以上に大きいことという意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「かなり」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、程度が予想以上に大きいことという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0134 用法 > 用法 | 難易度：標準

「しっかり」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：試験の前に、重要な文法をしっかり復習しました。
イ：電車はしっかり五分遅れて到着しました。
ウ：この店は駅からしっかり徒歩三分です。
エ：会議はしっかり三時に始まる予定です。

答え・解説 正答：ア

- ア：適切です。「しっかり」はここでは確実に、十分に行うことという意味・用法で自然に使われています。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「しっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「しっかり」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「しっかり」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「しっかり」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、確実に、十分に行うことという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0135 用法 > 用法 | 難易度：標準

「きちんと」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：この部屋はきちんと広くて明るいです。
イ：今日は朝から雨がきちんと降っています。
ウ：駅までは歩いてきちんと十分かかります。
エ：借りた本は期限までにきちんと返してください。

答え・解説 正答：エ

ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「きちんと」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「きちんと」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「きちんと」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「きちんと」はここでは決まりや順序を守って正しく行うことという意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「きちんと」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、決まりや順序を守って正しく行うことという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0136 用法 > 用法 | 難易度：基礎

「さっそく」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：新しい本を買ったので、家に帰ってさっそく読み始めました。
イ：私はさっそく三年前に日本へ来ました。
ウ：駅はこの道をさっそく右に曲がった所です。
エ：この荷物はさっそく重いので二人で持ちます。

答え・解説 正答：ア

ア：適切です。「さっそく」はここでは機会を得てすぐ行動することという意味・用法で自然に使われています。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「さっそく」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「さっそく」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「さっそく」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「さっそく」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、機会を得てすぐ行動することという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0137 用法 > 用法 | 難易度：基礎

「わざわざ」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：私は毎朝わざわざ七時に自然に目が覚めます。
イ：遠いところをわざわざ来てくださって、ありがとうございます。
ウ：電車は時刻表どおりわざわざ到着しました。
エ：この道はわざわざ狭いので車が通れません。

答え・解説 正答：イ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「わざわざ」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切です。「わざわざ」はここではそのために特別に手間をかけることという意味・用法で自然に使われています。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「わざわざ」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「わざわざ」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「わざわざ」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、そのために特別に手間をかけることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0138 用法 > 用法 | 難易度：標準

「たまたま」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：買い物の途中で、たまたま昔の先生に会いました。
イ：私はたまたま毎週水曜日に授業があります。
ウ：会議はたまたま毎回二時間続きます。
エ：このかばんはたまたま黒い色をしています。

答え・解説 正答：ア

- ア：適切です。「たまたま」はここでは偶然に起こることという意味・用法で自然に使われています。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「たまたま」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「たまたま」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「たまたま」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「たまたま」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、偶然に起こることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0139 用法 > 用法 | 難易度：標準

「ずいぶん」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：久しぶりに会ったら、子どもがずいぶん大きくなっていました。
イ：私はずいぶん本を三冊図書館で借りました。
ウ：バスはずいぶん三番乗り場から出ます。
エ：駅へはずいぶん電車で行くのが便利です。

答え・解説 正答：ア

- ア：適切です。「ずいぶん」はここでは程度や変化が大きいことという意味・用法で自然に使われています。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ずいぶん」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ずいぶん」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ずいぶん」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「ずいぶん」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、程度や変化が大きいことという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0140 用法 > 用法 | 難易度：基礎

「とうとう」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：駅まではとうとう歩いて十分です。
イ：私はとうとう毎朝七時に起きる習慣です。
ウ：この本はとうとう青い表紙をしています。
エ：何度も挑戦して、とうとう試験に合格しました。

答え・解説 正答：エ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「とうとう」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「とうとう」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「とうとう」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「とうとう」はここでは長い経過の末に最終的な結果になることという意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「とうとう」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、長い経過の末に最終的な結果になることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0141 用法 > 用法 | 難易度 : 基礎

「せっかく」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：この電車はせっかく駅に到着しました。
イ：私は毎朝せっかく七時に起きています。
ウ：せっかく京都まで来たので、有名なお寺にも行きましょう。
エ：今日はせっかく気温が二十度あります。

答え・解説 正答：ウ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「せっかく」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「せっかく」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「せっかく」はここでは貴重な機会や努力を無駄にしたくない気持ちという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「せっかく」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「せっかく」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、貴重な機会や努力を無駄にしたくない気持ちという用法が文脈に合っています。

対象 : 2026年度 / 基準日 2026-08-21

0142 用法 > 用法 | 難易度 : 応用

「なるべく」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：この本はなるべく三百ページあります。
イ：会議はなるべく午後三時に決まっています。
ウ：健康のため、なるべく階段を使うようにしています。
エ：駅はここからなるべく二キロ離れています。

答え・解説 正答：ウ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「なるべく」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「なるべく」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「なるべく」はここではできる範囲でできるだけという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「なるべく」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「なるべく」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、できる範囲でできるだけという用法が文脈に合っています。

対象 : 2026年度 / 基準日 2026-08-21

0143 用法 > 用法 | 難易度：標準

「まもなく」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：私はまもなく毎週日曜日に休みます。
イ：電車はまもなく到着します。
ウ：この問題はまもなく難しい内容です。
エ：駅はまもなく建物の右側にあります。

答え・解説 正答：イ

ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「まもなく」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切です。「まもなく」はここでは時間をあまり置かず、もうすぐという意味・用法で自然に使われています。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「まもなく」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「まもなく」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「まもなく」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結びつくかを判断します。正答では、時間をあまり置かず、もうすぐという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0144 用法 > 用法 | 難易度：基礎

「どうしても」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：駅まではどうしても徒歩十分の距離です。
イ：この会議はどうしても三時からの予定です。
ウ：明日までに、どうしてもこの仕事を終えなければなりません。
エ：この机はどうしても木で作られています。

答え・解説 正答：ウ

ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「どうしても」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「どうしても」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「どうしても」はここでは他の方法がなく、強い必要・意志があることという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「どうしても」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「どうしても」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結びつくかを判断します。正答では、他の方法がなく、強い必要・意志があることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0145 用法 > 用法 | 難易度：標準

「ほとんど」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：机はほとんど四角い形をしています。
イ：私はほとんど友達と三人で昼食を食べました。
ウ：この電車はほとんど午後三時に出発します。
エ：この本は難しくて、内容がほとんど分かりませんでした。

答え・解説 正答：エ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ほとんど」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ほとんど」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「ほとんど」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「ほとんど」はここでは全体の大部分、または「ほとんど～ない」という意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「ほとんど」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結びつくかを判断します。正答では、全体の大部分、または「ほとんど～ない」という用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0146 用法 > 用法 | 難易度：標準

「余る」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：昨日は本を余って三冊読みました。
イ：私は駅に余ってから電車に乗りました。
ウ：料理を作りすぎて、少し余りました。
エ：会議は午後三時に余って始まりました。

答え・解説 正答：ウ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「余る」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「余る」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「余る」はここでは必要な量を超えて残ることという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「余る」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「余る」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結びつくかを判断します。正答では、必要な量を超えて残ることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0147 用法 > 用法 | 難易度：標準

「間に合う」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：駅を間に合ってから右に曲がってください。
イ：急げば、九時の電車に間に合います。
ウ：この宿題は先生が間に合う内容です。
エ：本は三冊あれば間に合う机です。

答え・解説 正答：イ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「間に合う」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切です。「間に合う」はここでは決められた時刻・期限までに到達することという意味・用法で自然に使われています。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「間に合う」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「間に合う」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「間に合う」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、決められた時刻・期限までに到達することという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0148 用法 > 用法 | 難易度：応用

「任せる」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：今日の雨は先生に任せることにしました。
イ：駅までの道は田中さんに任せて歩きました。
ウ：この仕事は経験のある田中さんに任せましょう。
エ：会議の三時を友達に任せました。

答え・解説 正答：ウ

- ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「任せる」を使うと意味の関係が不自然です。
イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「任せる」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切です。「任せる」はここでは仕事や判断を相手にゆだねることという意味・用法で自然に使われています。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「任せる」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「任せる」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、仕事や判断を相手にゆだねることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0149 用法 > 用法 | 難易度：応用

「断る」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：予定があったので、飲み会の誘いを丁寧に断りました。
イ：駅を右に断ってからまっすぐ進みました。
ウ：本を三冊断って図書館へ返しました。
エ：雨が強く断っているので出かけません。

答え・解説 正答：ア

ア：適切です。「断る」はここでは依頼・誘いを受けないと伝えることという意味・用法で自然に使われています。

- イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「断る」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「断る」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「断る」を使うと意味の関係が不自然です。

総合解説：「断る」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、依頼・誘いを受けないと伝えることという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21

0150 用法 > 用法 | 難易度：標準

「確かめる」の使い方として最も適切なものを選んでください。

- ア：今日は天気が確かめて寒いです。
イ：駅までの時間を確かめて十分かかります。
ウ：この本を確かめる三冊買いました。
エ：出かける前に、窓が閉まっているか確かめました。

答え・解説 正答：エ

ア：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「確かめる」を使うと意味の関係が不自然です。

- イ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「確かめる」を使うと意味の関係が不自然です。
ウ：適切ではありません。文そのものは成立しますが、この文脈で「確かめる」を使うと意味の関係が不自然です。
エ：適切です。「確かめる」はここでは事実や状態が正しいか確認することという意味・用法で自然に使われています。

総合解説：「確かめる」の辞書的な意味だけでなく、どのような語や状況と自然に結び付くかを判断します。正答では、事実や状態が正しいか確認することという用法が文脈に合っています。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-21